



岩手県ホームページでも
ご覧いただけます ▼



美しい 県土づくりNEWS

2024年
8月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第239号
令和6年8月30日発行
編集 県土整備企画室

～創刊20周年記念号～

目次

2	平成16年(2004年)	8月号: 創刊号
6	平成17年(2005年)	4月号: 花巻空港2,500m滑走路
10	平成18年(2006年)	12月号: 杜の大橋 開通
14	平成19年(2007年)	10月号: 早坂トンネル開通
17	平成20年(2008年)	9月号: ☆ 第50号 ☆
21	平成21年(2009年)	11月号: 北山トンネル 開通
24	平成23年(2011年)	3月号: 東日本大震災前日発行
27	平成23年(2011年)	4月号: 東日本大震災直後の発行
31	平成24年(2012年)	11月号: ☆ 第100号 ☆
35	平成26年(2014年)	2月号: 災害公営住宅 完成 等
39	平成26年(2014年)	10月号: 津付道路 開通
42	平成27年(2015年)	9月号: 浄法寺バイパス 開通
45	平成29年(2017年)	1月号: ☆ 第150号 ☆
49	平成29年(2017年)	7月号: 水門・陸間自動閉鎖システム運用
51	平成30年(2018年)	11月号: 柵の瀬橋 開通
54	令和 元年(2019年)	9月号: 築川ダム堤体打設完了
56	令和 3年(2021年)	3月号: ☆ 第200号 ☆
60	令和 4年(2022年)	1月号: 高田松原津波復興祈念公園全面供用
63	令和 5年(2023年)	2月号: 小本川流木捕捉施設完成
66	令和 6年(2024年)	1月号: 岩谷橋 二戸市 完成
70	令和 6年(2024年)	7月号: 最新号
74	令和 6年(2024年)	7月 : SNS開設

美しい県土づくりNEWSで振り返る ✨ 岩手県県土整備部 ✨ 20年の歩み ✨

岩手県県土整備部では、「美しい県土づくりNEWS」を、平成16年8月に創刊し、東日本大震災津波が発生した平成23年を含め、毎月の発行を継続してきました。

職員自らが企画、原稿作成、レイアウト、校正、印刷、発行など全てを担う「手づくり広報誌」として、今号の発行で239号を数えます。

令和6年7月からはSNSを開設し、よりタイムリーに幅広く発信しています。

今後も、『職員一人ひとりが広報マン!』をモットーに、県土整備行政の旬の話題をお届けしてまいりますので、引き続きご愛読いただきますようお願いいたします。



幸せ出ずる国、いわてへ。

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

▲ 平成16年(2004年) 8月号: ✨ 創刊号 ✨

美しい 県土づくりNEWS



岩手県県土整備部広報誌
美しい県土づくり NEWS 創刊号
平成 16年 8月 1日発行
編集 県土整備企画室

CONTENTS

Page 2	● 今月の人 県土整備部長 橋本義春
3	● 特集 県民参加による県土づくり
5	● 現場情報
7	● 県土整備 TOPICS
8	● データウォッチング トンネル延長 ● 土木建築作品 北上大橋 (川崎村)
9	● インフォメーション

物流を支える幹線道路、整備中！

一般国道 283 号仙人道路地区(遠野市)



県土整備部では、創造力あふれ活力がみなぎる産業が展開する社会実現のため、物流を支える幹線道路を整備するなど、産業活動を支える基盤づくりを進めています。

▲ 平成16年(2004年) 8月号: ✨ 創刊号 ✨

◎ 今月の人

父親の域

県土整備部長 橋本義春



県土整備部長を拝命して4ヶ月が経とうとしておりますが、日々新たな体験に感動と責任の重さを感じながら勤めております。

職員の皆様におかれましては第二四半期に入り、上半期発注目標達成に向けて業務に拍車を掛けていただいておりますことと感謝を申し上げます。

現在、行財政構造改革が進められておりますが、当部でも汚水処理や道路、海岸、砂防施設整備など庁内各部において実施している類似業務を統括し、組織や企画担当の一元化などについて検討を行っております。また、昨年度の政策評価を行っているところであり、その成果をもとに来年度の重点施策を立案していくこととなりますが、40の政策に直結する業務が少ない当部にとりましては厳しいものが予測されます。

今年度も振興局土木部長等の出席をお願いし、サマレビューを予定しておりますが、地域の皆様の要望やご意見を反映すると共に今後総合政策室から出される重点化にかかる情報を的確に捉えご検討を頂きたいと思っております。

さて、8月は盂蘭盆の月でもあり先祖の墓参のため実家にお帰りになったり、この機会に旅行される方などがいらっしゃると思いますが、それまでに業務に区切りを付けられまして是非この間は仕事を離れ鋭気を養って頂きたいと思っております。

私事ですが、7月に連休を利用して中学校の同期会に出席してきました。43年ぶりに再会した友人もあり、一変に時代を遡るタイムマシンに乗って、懐かしい故郷の風景や時代背景と一緒に忘れていた様々な事、悪戯して怒られたり授業をサボって先生に殴られたりしたことなどを思い出す事になりました。

近年、物忘れ症候群に罹っている私にとって、この日は昔のことは忘れずに覚えていた我が父親の域に達したなあと感じた一日になりました。

ともあれ、皆様におかれましては移動等に当たっては交通事故に十分ご留意の上、楽しい休暇をお過ごしいただきますようお願いいたします。



県民参加による県土づくり

NPOや地域団体との協働事業について紹介します。詳しくは「県民参加・NPO等協働通信」をご覧ください。

16年度県土整備部における主なNPOとの協働事業

No.	NPO名	事業名	事業内容	担当課
1	循環資源デザインネットワーク 他5団体	ともだち・川・交流サポート事業	県の管理する河川、ダム、海岸をフィールドに、子どもを主役とした連携活動が活発になるよう、活動を企画・運営する地域活動団体に活動費を補助。 【循環資源デザインネットワーク事業概要】 1. 実施時期 7月～8月 2. 実施場所 早池峰ダム湖及び山村文化交流館 3. 事業内容 ①カヌー試乗体験、②カヌースクール、③早池峰ダム探検隊	河川課
2	いわてNPOセンター	土砂災害危険防止対策住民意識調査事業	土砂災害対策における住民意識調査を実施する。 ① 住民聞き取り調査 ② 懇談会(3市町村、各1回) ③ 意識調査とりまとめ	砂防災害課
3	花巻文化村協議会	花巻広域公園の利活用促進事業(地域活性化調整費)	1 利活用促進イベント「ぎんがのもり 夏まつり」 ① 実施期間 16年7月19日(月・祝) ②場所 花巻広域公園 ② 内容 フリーマーケット・屋台村・ウォークラリー等の開催 2 利活用促進ワークショップ ① 公園の魅力検証、②整備・運営・管理手法の検証 ② 提言案策定に向けた合意形成 等	花巻地方振興局土木部
4	※現在、委託NPO(5団体程度)を募集中	地域の景観点検	1. 実施期間 平成16年7月中旬～10月中旬 2. 委託内容 ①点検区域内の住民により現地踏査を行い、優れた景観(景観資源)と見苦しい景観(景観阻害要因)を抽出、整理して、地域景観マップ、リスト等を作成。②10月頃までに、点検活動を報告書にまとめ、実施報告書及び報告概要書を作成。③景観に関するフォーラムの開催	都市計画課
5	岩手で茅葺き技術の伝承を促進する委員会	御所湖広域公園南部曲がり家茅葺き屋根葺き替え事業(仮称)	1. 南部曲がり屋の補修(茅葺き屋根の葺き替え) 移築から30年近く経過し、老朽化が著しい南部曲がり屋の茅葺き屋根をNPOに委託し葺き替える。 2. 公園の利活用に関するワークショップ 公園の利活用計画及び維持管理計画の策定作業	盛岡地方振興局土木部
6	緩衝緑地をつくる会(仮称)	花巻空港緩衝緑地整備事業	14年度、15年度と花巻文化村に委託し花巻空港緩衝緑地管理手法のワークショップを開催してきたが、地域住民・事業関係者からの意向により従来の「草の根座談会」を「NPO(仮称)緩衝緑地をつくる会」として設立させ、管理手法等について検討することとなった。	港湾空港課

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

▲ 平成16年(2004年) 8月号: ✨ 創刊号 ✨

美しい
県土整備 TOPICS

こんなことがありました…



森と湖に親しむ旬間 プレイベント
7月2日(金)、3日(土)

7月2日(金)と3日(土)の二日間にわたり、盛岡市の中津川河川敷と「プラザおでって」を会場に、いわての森・川・海条例制定記念「森と湖に親しむ旬間」プレイベントが開催されました。

このイベントは、同条例の施行を機に、河川を軸とした上下流域地域の相互理解の推進と、県内企業等による環境や新技術への取り組みを紹介することにより、安全で楽しい水辺や森林の利用促進について理解を深めてもらうために企画されたもの。

当日は、1500人を超す方々が会場を訪れ、サラリーマン転覆隊の本田氏の爆笑河川トークや、展示ブースで紹介されていた資源循環の取組みや川の上下流速携の取組みを見学した。



豪華客船「飛鳥」入港
7月21日(水)

7月21日、大船渡港の野々田埠頭に、日本最大級の豪華客船「飛鳥」(郵船クルーズ、28,856トン)が入港しました。飛鳥は、穏やかな湾内をその巨体を滑らせるように航行。まさに浮かぶホテルのような威容でした。大勢の市民が、郷土芸能などで歓迎。首都圏などからの乗客約530人は市内観光や平泉や遠野などへのバスツアーを楽しみました。

大船渡港への寄港は、13年連続の17回目となりました。これだけの寄港は全国でも珍しく、飛鳥と大船渡港と縁の深さを物語っています。

岩手県への今年度の豪華客船の寄港は、このほかに「ばしふいっくびいなす」(びいなすクルーズ、26,518トン)が、大船渡港と久慈港に寄港する予定となっています。



平成16年度両磐地区合同水防演習を実施
7月25日(日)

7月25日(日)に一関市総合体育館(ユードーム)西側において、両磐地区合同水防演習を行いました。これは、出水期をむかえ水防体制の充実強化を図るとともに、水防意識を高め水防団員の技術を強化するため、北上川流域の関係機関が合同し、毎年行っているもの。

当日は両磐地区の水防団関係者約570名、ボランティア参加の高校生約70名、地域の自主防災組織約100名、一般見学者約150名が参加。

会場では、両磐地区の水防団による水防工法実演やポンプ車による排水訓練、応急橋架訓練のほか、高校生と水防団が協同して積み土のう工法の演習が行われました。



河川愛護団体感謝状贈呈式
7月29日(木)

7月29日(木)にホテル東日本において、河川愛護団体等感謝状贈呈式が開催されました。これは、県が管理する一級河川と二級河川について、地域における河川環境の美化保全活動や河川愛護活動の一役を担っている個人や団体を表彰するもの。

当日は、12年間滝名川河川敷や堤防の草刈を行ってきた阿部喜六さん(紫波町)、14年間仲居川堤防の草刈を行ってきた松里昇さん(大迫町)、13年間馬淵川河川敷の草刈を行ってきた晴山町内会(二戸市)が橋本部長から感謝状の贈呈を受けました。

平成

令和

16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6
2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

▲ 平成16年(2004年) 8月号: ✨ 創刊号 ✨

データウォッチング

本県の社会資本整備の状況等をデータで見るコーナー。今年度作成しました「県土整備年報'04」からご照会いたします。県土整備年報は、ホームページでもご覧いただけます。アドレスはこちら

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0600/nenpou.htm>

トンネル延長のベスト10

順位	路線名	トンネル名	延長	単位: m
1	国 283号	仙人トンネル	2,499.0	
2	国 340号	赤羽根トンネル	1,998.0	
3	主 花巻大曲線	小倉山トンネル	1,765.0	
4	主 盛岡横手線	山伏トンネル	1,282.0	
5	国 106号	下達曾部トンネル	997.0	
6	国 396号	小峠トンネル	995.0	
7	一 宮古港線	小山田トンネル	875.0	
8	国 397号	種山トンネル	870.0	
9	国 397号	赤金トンネル	855.0	
10	国 107号	白石トンネル	807.7	



土木建築作品

Vol.1 北上大橋
KITAKAMI OHASHI

県民に親しまれてい
る文化的価値の高い
土木建築作品を紹介
するコーナー

岩手県には南北に流れる大河北上川があり、北上平野を東西に分割しています。四十四田ダム湖にかかる岩姫橋（由盛岡環状線）から、宮城県に程近い北上川橋（由花泉藤沢線）までのおよそ180kmの間に、東西の交流や物流を一手に担ってきた県管理の橋梁が26あります。これらの橋群が、昔から人々の暮らしを支え、また人々に愛され、岩手の歴史を築いてきた大事な建築物であるといえるのではないのでしょうか。その中のいくつかをシリーズで紹介し

【北上大橋】先代の橋は、昭和9年に着工し、平成11年7月、あと9mで完成という時、増水のため足場もろとも流されました。再度架橋に取り組み、昭和13年に完成しました。全長204mの当時としては極めて斬新な形式のブレースド リブタイド アーチ橋でした。

現橋は、平成6年に着手し、15年春に完成しました。旧橋のイメージを残しつつ、力学的に無理のない構造を追求した結果、非常に優美な景観を得ることができました。この新橋は、ベント設置による自走式クレーンの片持ち架設でコスト縮減し、優美な構造と併せて評価され、16年6月に、土木学会田中賞作品部門賞（注釈）を受賞しています。

北上川に架かる橋には、それぞれ固有の歴史があります。地域間交流に寄与するばかりでなく、地域のランドマーク的存在でもあり、大河北上川に隔てられた兩岸を結び、岩手の交流物流を支えてきた岩手の歴史と文化に深く結びついた建造物の数々ではないかと思えます。

※ 田中賞とは

「田中賞」は、橋梁・鋼構造工学会の権威者であり、日本の橋梁界・鋼構造界の育ての親である故田中豊博士の功績を偲び、昭和41年に土木学会賞の一つとして発足したものです。「作品部門」では、設計者や施工者などではなく、あくまでも作品である橋などが表彰されます。県内では、昭和55年に北上市にある第二孫屋敷架道橋（日本国有鉄道）が受賞しています。



次世代にその優美な姿を引き継ぐ北上大橋の全景

地元の子供たちからのメッセージ紹介

「川崎村のシンボル」

川崎中学校2年 和泉日向子

全長482メートル、青緑色で、がっちりした、なんともたくましい北上大橋。

これから川崎村がどんな試練にみまわれようと、きっと、この村のシンボル北上大橋は私たちをいつまでも見守ってくれるのだと私は信じています。そして、これからの川崎村の歴史をたくさん刻み込んでいくことと思います。 出所:「北上大橋物語」より

美しい 県土づくりNEWS



岩手県県土整備部手づくり広報誌
 美しい県土づくりNEWS 9号
 平成17年4月5日発行
 編集 県土整備企画室

CONTENTS

Page	● 今月の人
2	小野参事兼建設技術振興課総括課長
3	● 平成17年度県土整備部予算
6	● 花巻空港2,500m滑走路供用開始
9	● 大船渡三陸道路が開通
11	● 県土整備 TOPICS
13	● インフォメーション
14	● みんなの声

イーハトーブの風によって いわて花巻空港 2500m 滑走路供用開始！



花巻空港の滑走路が2,000mから2,500mに延長され、3月17日から供用開始されました。これにより、離発着時の安全性の向上や冬季就航率の改善が図られるほか、航空機の燃料積載量を増やすことによる航続距離の大幅な延長が可能となり、これまでソウル、台北といった近隣地域に限られていた直行便の運行先がハワイやシンガポール等にまで拡大します。今後、本県産業の振興や県民の国内外との交流促進を図るうえで、花巻空港がより一層大きな役割を担っていくものと考えております。

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

▲ 平成17年(2005年) 4月号:花巻空港2,500m滑走路

特集

イーハトーブの風によって

花巻空港2,500m滑走路 供用開始!

3月23日(水)、花巻空港ターミナルビルにおいて、花巻空港2,500m滑走路供用開始式並びに滑走路延長記念ハワイチャーター便出発式が行われました。

県では、花巻空港をお客様にとってより利便性の高い空港とするため、平成10年度から滑走路の延長やターミナル地域の移転・拡張整備を進めてきましたが、このたび、滑走路を500m延長し2,500mとする工事が完了し、今月の17日に供用を開始しました。ここに至るまでには、国土交通省や地元の地権者の皆様をはじめ、多くの方々の並々ならぬご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

この滑走路延長により、安全性の向上や冬季就航率の改善が図られるとともに、航空機の燃料積載量を増やすことが可能となり、航続距離が飛躍的に延

長されることから、これまでソウル、台北といった近隣地域に限られていた国際チャーター便の直接渡航範囲が大きく拡大いたしました。

このことにより、本県初のハワイへの直行チャーター便の就航が実現し、花巻空港の歴史において特筆すべき記念の日を迎えることができました。

また、去る2月17日の、国際線への乗継が大変便利な中部国際空港の開港により、本県からの海外旅行がより身近になったほか、3月18日から31日までの春休み期間は、県民に人気の高い沖縄線も毎日運航され、花巻空港は、大変活気に満ちました。

今後は、新ターミナル地域の完成に向けてさらに努力するとともに、国内や海外への空の玄関口として、より一層ご利用いただき、みなさまに快適な空の旅を満喫していただければと思います。

式典の様子



混雑するロビーの様子



夜の滑走路に滑り込むB767



滑走路延長整備事業による効果

欠航が減り就航率が向上します!

これまでの滑走路を南側に500m延長し、滑走路延長が2,500mになります。花巻空港は、雪氷による運航制限により冬季の就航率が低下していましたが、滑走路延長によって運航制限が緩和されるため、欠航が減り就航率が向上します。また、遅延についても改善されるため、安全な運航の確保と公共交通機関としての信頼性の向上が図られます。

降雪期の運航状況



降雪期の除雪状況



平成

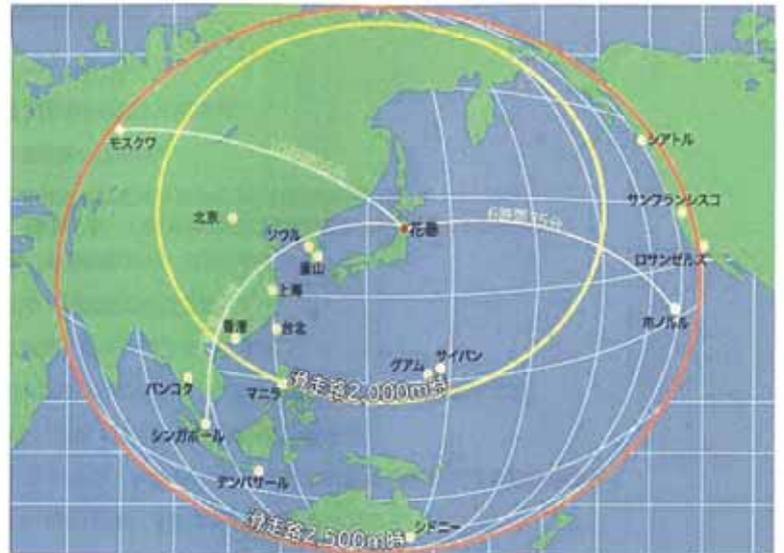
令和



▲ 平成17年(2005年) 4月号: 花巻空港2,500m滑走路

より遠くの海外へ渡航が可能に！

滑走路延長により航空機の燃料積載量を増やすことが可能となり、航続距離の大幅な延長が可能になります。これにより、これまではソウル、台北などアジア近隣都市までに限定されていた直行便の渡航先が拡大し、ホノルルやシンガポールなどより遠くの都市へ直接渡航することが可能になります。



※飛行時間については、運航条件等により実際とは異なります

花巻空港整備事業のスケジュール

「岩手県行財政構造改革プログラム」の中で、公共事業費を16年度まで段階的に14年度当初予算に比べ30%削減し、大規模施設整備事業についても聖域なく見直すこととしています。

花巻空港整備事業についても全体事業計画の見直しを行い、今後の整備スケジュールを次のとおりに変更しています。

- 1 滑走路延長は当初予定とおり17年3月供用とする。
- 2 新ターミナルの供用開始は2年延期し19年度とする。
- 3 平行誘導路は、岩手県公共事業評価委員会に諮ったうえで、16年度から予定していた舗装工事を当面5年間休止する。

全体整備スケジュール

工種/年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
用地取得	[Progress bar]											
舗装工事			[Progress bar]									
用地造成			[Progress bar]									
滑走路(既設・延長)			[Progress bar]									
ターミナル地域												
平行誘導路												
新ターミナル												
電線移設												

※平成21年度以降のスケジュールについては、平成20年度の県公共事業評価委員会での意思を踏まえ決定する。

滑走路延長整備の 変遷



平成13年4月



平成14年6月



平成15年6月



平成16年7月



平成16年10月

愛称「いわて花巻空港」、キャッチフレーズ「イーハトーブの風によって」に決定！

岩手県空港利用促進協議会では、2,500m滑走路供用開始を機に、花巻空港をより身近なものとして親しんでいただくとともに、さらに知名度を高め、一層の利用拡大を図るため、愛称及びキャッチフレーズを全国から作品を募集したところ、多数のご応募をいただきました。応募作品の中から、3月15日の協議会総会において、愛称「いわて花巻空港」、キャッチフレーズ「イーハトーブの風によって」および優秀賞各2作品を決定いたしました。ご応募いただきました皆様、ありがとうございました。

愛称「いわて花巻空港」選定理由

岩手の空港であることが誰にでもすぐにわかっていたことから、花巻空港の知名度を高めるとの愛称制定の趣旨に最もふさわしい作品であること。また、「いわて」が平仮名表記であり、ソフトなイメージで広く受け入れられやすい印象であること。

キャッチフレーズ「イーハトーブの風によって」選定理由

シンプルな表現で、イーハトーブという言葉は県民にも馴染みが深く、また、ドリームランド岩手や宮沢賢治のイメージをメッセージとして全国に情報発信できること。また、県民の方々にさらに花巻空港を利用いただくことと、全国のお客様に岩手にお出でいただくことの両方のメッセージ性を有していること。

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

▲ 平成17年(2005年) 4月号: 花巻空港2,500m滑走路

沿革

- 滑走路(2,500m)供用開始 平成17年3月17日
- 供用開始の官報告示 平成17年 2月
- 滑走路延長部(2,500m)基本施設の完成検査 平成16年11月
- 滑走路延長部(2,500m)照明施設の完成検査(地上・飛行検査)
- 新設VOR/DME供用開始 平成15年 1月
- 航空灯火変更許可 平成12年12月
- 航空灯火変更許可申請 平成12年10月
- 飛行場施設変更許可(滑走路:2,000m→2,500m) 平成11年11月
- 花巻空港臨空都市構想の公表 平成11年 6月
- 飛行場施設変更許可申請(滑走路:2,000m→2,500m) 平成11年 5月
- 2,500m滑走路整備事業着手 平成10年 4月
- 地方空港整備特別事業として2,500m滑走路延長が盛り込まれた 平成 8年12月
- 第7次空港整備5ヶ年計画閣議決定
- 中型ジェット機対応空港として供用開始 平成 7年 4月
- 精密進入角指示灯(PAPI)供用開始 平成 2年 3月
- 昭和58年 3月 新滑走路(2,000m)供用開始。花巻空港ジェット化開港
- 昭和57年11月 飛行場施設変更工事の完成検査
飛行場灯火変更工事の完成検査(地上・飛行検査)
- 昭和56年12月 新エプロン2バース供用開始
- 昭和55年11月 新滑走路(1,200m)部分供用開始
- 昭和55年 8月 運輸省東京航空局VOR/DMEの供用開始
- 昭和55年 6月 岩手県空港ターミナルビル株式会社設立
- 昭和53年 8月 航空灯火変更許可
- 昭和53年 6月 航空灯火変更許可申請
- 昭和51年10月 国の第3次空港整備5ヶ年計画閣議決定
- 昭和50年12月 飛行場施設変更許可(滑走路:1,200m→2,000m)
- 昭和50年10月 空港の施設変更に関する公聴会の開催
- 昭和50年 9月 飛行場施設変更許可申請(滑走路:1,200m→2,000m)
- 昭和48年11月 空港拡張用地の買収開始
- 昭和48年 9月 新県勢発展計画策定。花巻空港の滑走路を、当面2,000mに拡張することを表明
- 昭和47年 3月 空港拡張整備計画が盛り込まれた第2次空港整備5ヶ年計画閣議決定
- 昭和46年 6月 知事、県議会で拡張計画を表明
- 昭和39年 2月 第三種空港として供用開始(滑走路1,200m)
- 昭和36年11月 飛行場設置許可



平成16年 滑走路延長部完成



平成9年 滑走路2,500m整備
事業着手前の2,000m滑走路



昭和56年 1,200mで暫定共用中の
2,000m滑走路工事



昭和55年 1,200mの滑走路と
建設中の2,000m滑走路



昭和43年 開港当初(1,200m滑走路)



昭和39年頃 開港当時の花巻空港



昭和22年 空港建設前

▲ 平成18年(2006年) 12月号: 杜の大橋 開通

美しい 県土づくりNEWS



2006年
12月

岩手県県土整備部手づくり広報誌
 美しい県土づくり NEWS 29号
 平成18年12月5日発行
 編集 県土整備企画室

目次

- P 2 ● 今月の人 岩手県立大学元田良孝教授
- P 4 ● 杜の大橋開通
- P 7 ● 「県内 90 分交通ネットワーク整備プログラム」の達成状況
- P 9 ● いわて建設業経営革新特別資金
- P 11 ● 除雪
- P 12 ● 盛岡南部地区の除雪ステーションを新築中
- P 13 ● 都市計画法の改正
- P 15 ● 汚水処理連携セミナーの開催
- P 16 ● トピックス 北山トンネル貫通 他
- P 18 ● みんなの声
- P 21 ● インフォメーション 道路開通情報他
- P 24 ● インフォメーション 白鳥の飛来
- P 25 ● 地域づくりフォーラム・パネル展のご案内

岩手の風景

杜の大橋開通 盛岡市

平成18年11月17日に、杜の大橋の開通式を行いました。
 テープカットの後、仙北小学校マーチングバンドを先導に、多くの市民により渡り初めを行いました。
 杜の大橋を含む盛岡駅本宮線は、同日12:00をもって開通しました。



平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

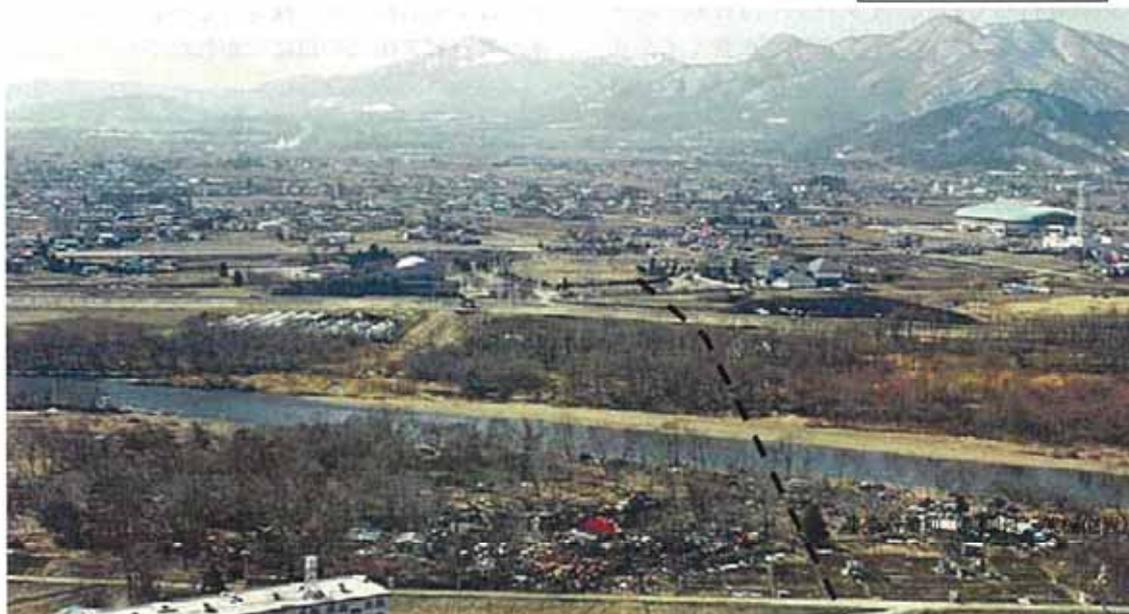
▲ 平成18年(2006年) 12月号: 杜の大橋 開通

都市計画道路盛岡駅本宮線 / 杜の大橋 / 開通

11月17日



平成18年11月



事業着手前 (破線は、橋の位置)

平成

令和

16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6
 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

▲ 平成18年(2006年) 12月号: 杜の大橋 開通

● 盛岡の将来都市構造と「杜の大橋」



● 県都盛岡における杜の大橋が担う機能

- 盛岡の将来都市構造を支える道路網計画は、都心環状と市街地環状からなる2ルートの環状道路と6本の放射道路（以下「2環状6放射道路網」という。）で構成されています。
- その中で、現都心、新都心形成を目指す盛岡駅西口及び盛岡南両地区を結ぶ道路は、「都市軸」の骨格道路であるとともに、バス等公共交通機関の交通軸として位置付けられており、杜の大橋は雫石川の兩岸を結び、この都市軸の「核」としての役割を担う重要な役割を担うこととなっています。
- 以上のように、杜の大橋は県都盛岡の街づくりを支えるとともに、円滑な都市交通の確保、市街地の開発や誘導等による都市軸の形成を図ることから、その早期整備が地域から強く要望されていたものであり、これらの実現を図るため、整備を行って参りました。
- 現在、路線沿線には盛岡駅西口に盛岡地域交流センター(マリオス)、いわて県民情報交流センター(アイーナ)、岩手朝日テレビ社屋、集合住宅等が立地するなど、都市軸の形成とともに、盛岡の21世紀の街づくりが具現化しつつあるものと期待しています。
- なお、架橋地点は白鳥の飛来地や野鳥の生息地として貴重な地域であるとともに、都市の中にある河川として、また四方の山々の眺望等を確保できる視点場として景観上も重要なポイントとなっています。このため、専門家等の提言を踏まえ、環境に配慮するとともに景観との調和を図った橋とするよう配慮がなされています。

1 事業概要	
○ 都市計画道路名 : 盛岡駅本宮線	○ 事業箇所 : 盛岡市中川町～盛岡市本宮
○ 事業延長 : 918m	○ 道路規格 : 4種1級
○ 道路幅員 : 23.0m～29.0m	○ 設計速度 : 60Km/hr
○ 杜の大橋 : 494m (7径間連続PC箱桁橋)	○ 高架橋 : 160m
○ 7-幅員 : 80m	○ 事業期間 : 平成8年度～平成18年度
○ 事業費 : 約60億円	
2 事業経過 ○ 都市計画決定:平成5年 ○ 事業着手:平成8年	
事業アセスメントや毎年、橋周辺のモニタリングを行うなど、環境調査を重ねながら工事を進めるとともに、橋の設計にあたっては、景観検討委員会を設置し、自然と景観との調和を図りました。	

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

▲ 平成18年(2006年) 12月号: 杜の大橋 開通



本宮側から盛岡駅西口方面



親柱



バルコニーから岩手山を望む



デザイン高欄



景観検討委員会



杜の大橋名称選考表彰式



本宮小学校見学会

- 杜の大橋関係スナップ写真
- 橋梁デザイン、高欄、親柱、照明灯などすべて景観検討委員会の提言を踏まえて、計画を作成しました。

問い合わせ先 盛岡地方振興局土木部

都市整備グループ

TEL 019-629-6642

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

▲ 平成19年(2007年) 10月号: 早坂トンネル開通

美しい 県土づくりNEWS



2007年
10月

岩手の風景

岩手県県土整備部
手づくり広報誌 39号
平成19年10月5日発行
編集 県土整備企画室

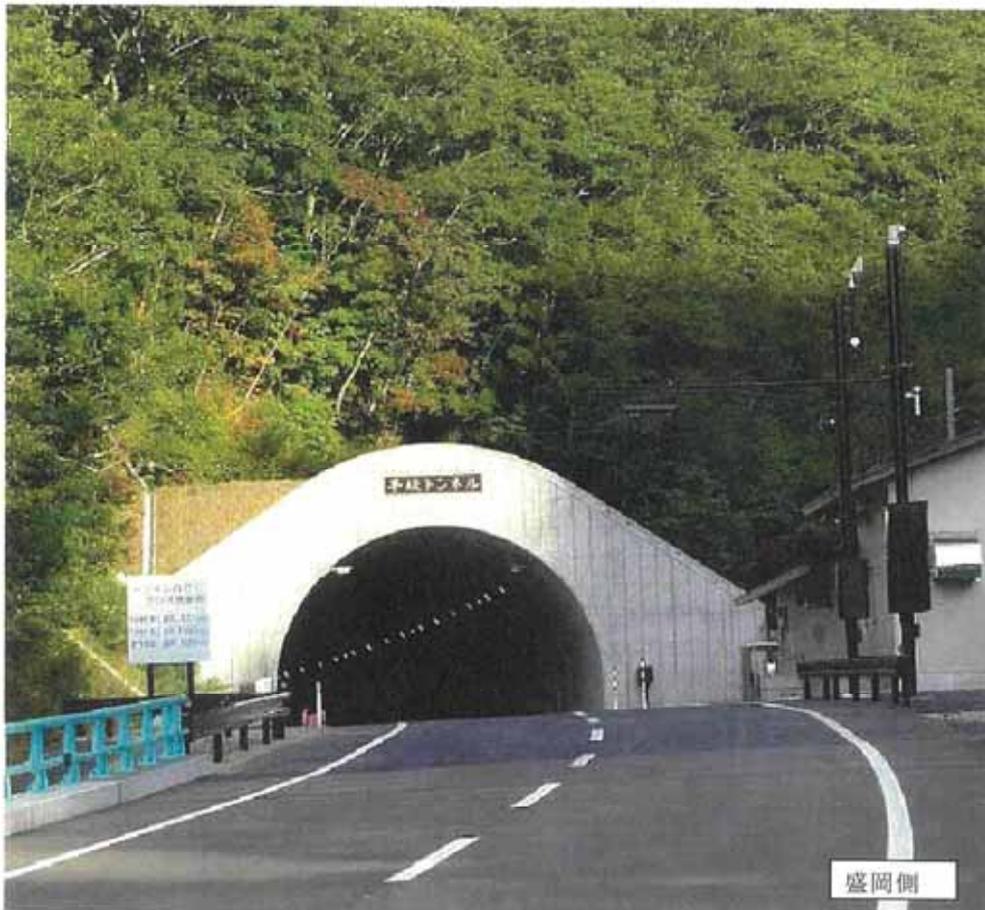


目次

- ❶ 一般国道465号「早坂道路」10月8日開通！！
- ❷ 道の駅「三田貝分校」オープン
- ❸ 台風9号と9月16日～18日豪雨による被災状況
- ❹ 下水道フェスタ2007を開催
- ❺ 道の日イベントPart 2
- ❻ 住民協働 河川子供探査会
- ❼ パートナー紹介～NPO法人わが流域環境ネット～
- ❽ 市町村の動き 久慈市 新中心市街地活性化基本計画
- ❾ 9月10日は「屋外広告の日」
- ❿ 花巻広域公園ぎんがのもり夏まつりを開催！
- ⓫ いわて花巻空港スカイフェスタ2007を開催！
- ⓬ “新” いわての暮らしの博覧会 住まエネフェスタ 2007を開催
- ⓭ いわて花巻空港をご利用される皆様へ
- ⓮ いわてハウジングフォーラム 住まいる講座
- ⓯ 県立花巻広域公園県民ゴルフ場からのお知らせ

～希望をのせて～早坂道路が開通します！

岩泉町と盛岡市を結ぶ早坂道路が、10月8日に開通します。この道路の開通により、沿岸北部と盛岡市がぐ～んと近くなります。ヘアピンカーブが解消され、時間も通常で10分（冬期は15分）短縮されます。道路開通に合わせて、地域の新しい顔「道の駅 三田貝分校」もオープン。紅葉シーズンもうすぐです。早坂道路を走ってみませんか。P2～4に関連記事掲載。



盛岡側

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

▲ 平成19年(2007年) 10月号: 早坂トンネル 開通

一般国道455号「早坂道路」10月8日 開通！！

平成19年10月8日、一般国道455号「早坂道路 4,170m」(内トンネル延長 3,115m)が、開通します。

早坂道路の開通により解消される早坂峠は、急カーブ、急勾配が連続する県内屈指の交通の難所でした。特に冬場は、積雪、凍結によるスリップ事故が多発するなど、安全で円滑な交通の支障となっていたことから、平成10年度に道路改築事業に着手したものです。

早坂道路内の「早坂トンネル」は、県が施工したトンネルでは最長となる3,115m。

今回の開通により、通行車両の交通の安全が確保され、地域間の交流・連携の促進、産業・観光等の振興と発展に大きく貢献することが期待されています。

10月8日(月)午前10時から早坂トンネル岩泉側付近で開通式が行われ、一般車は同日の午後2時より通行できます。

1. 開通区間の概要

- 事業名 / 道路改築事業
- 事業期間 / 平成10年度 ~ 平成19年度
- 事業延長 / 4,170m
- 道路規格 / 第3種第4級 設計速度 50km/h
- 幅員 / 9.5m
- 主要構造物 / トンネル1箇所 延長 3,115m、橋梁4箇所 全体延長 71.4m

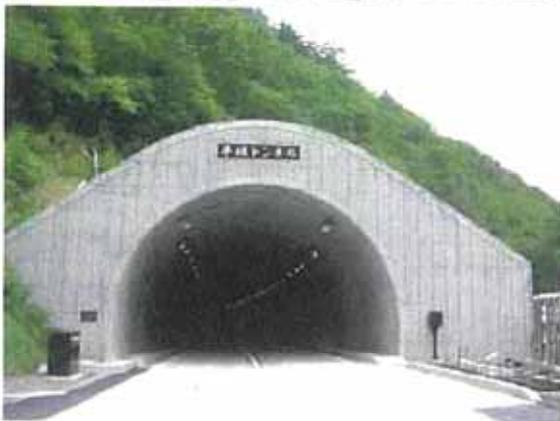


平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

▲ 平成19年(2007年) 10月号:早坂トンネル 開通



(早坂トンネル盛岡側坑口 H19.9月撮影)



(冬の早坂峠)

2. 事業の経緯

一般国道455号早坂峠は、急カーブ(68ヶ所:内ヘアピンカーブ12ヶ所)、急勾配箇所(最急勾配9%)が連続し、ドライバーへの大きな負担となっていました。

このことから、峠部の隘路区間の解消を図るため、平成10年度から道路改築事業に着手したものです。

- 平成10年度 事業採択
- 平成12年度 トンネル本体工事着手(H12. 12月)
- 平成15年度 改良工事着手
- 平成16年度 トンネル貫通(H16. 6月)
- 平成17年度 トンネル本体工事完成(H17. 2月)、トンネル管理設備工事着手
- 平成19年度 盛岡側、岩泉側舗装工事

3. 整備後の事業効果

- * 急カーブ、急勾配が解消され、特に冬期間の安全で円滑な交通の確保が図られます。
- * 盛岡市～岩泉間が10分短縮されることにより、物流、観光産業支援・観光地へのアクセス向上・流通の効率化・地域医療の支援(患者搬送時間短縮)が図られます。

区分	現在	整備後
区間延長	約9.7km	約4.2km
通過点最高標高	905m	710m
急カーブ数	68ヶ所(内ヘアピン12ヶ所)	なし
最急縦断勾配	9.0%	5.8% (トンネル内 2.67%)
通過時間(冬期)	約15分(約20分)	約5分(約5分)

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

▲ 平成20年(2008年) 9月号: ✨ 第50号 ✨

美しい 県土づくりNEWS



2008年
9月

岩手県県土整備部
手づくり広報誌 50号
平成20年9月12日発行
編集 県土整備企画室

目次

- ❶ 「岩手・宮城内陸地震」復興への取組み
- ❷ 一般国道342号 道路災害関連事業について
- ❸ 『一般国道455号早坂道路改築事業』
『都市計画道路毛越寺線志羅山地区街路整備事業』
が全建賞を受賞しました!
- ❹ 『河川愛護団体に対する感謝状贈呈式』を開催
- ❺ 親子で見るダムの現場!
- ❻ インターンシップ事業の紹介
- ❼ 下水道出前講座開催! ~ (財)岩手県下水道公社の取組み~
- ❽ いわて花巻空港スカイフェスタ2008のご案内



～創刊50号を迎えました～

2004年8月に産声を上げた手づくり広報誌「美しい県土づくりNEWS」は、おかげさまで創刊50号を迎えました。これからも、当部の事業の状況や県民の皆様との協働の取り組み等を紹介していきます。



(写真)

創刊号から49号までの表紙を並べてみました。
これまでの約4年間の歴史が垣間見られます。

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

▲ 平成20年(2008年) 9月号: ✨ 第50号 ✨

一般国道 342号 道路災害関連事業について

道路建設課
一関総合支局土木部

6月14日8時43分に発生した岩手・宮城内陸地震(M7.2)では、震源地である一関市で震度5強を記録しました。この地震により、一関市巖美町字茂庭沢地内では、長さ70m、高さ150mの規模で道路を含めて斜面が崩れたほか、路面のひび割れ、段差等が多数発生し、道路が通行不能となりました。

県では、この被災箇所とこれに接続する未被災箇所を含めた約1.2kmのうち、道路の幅が狭く・急カーブ・急勾配となっている区間について、安全で円滑な交通を確保するため2車線道路に改良する道路災害関連事業を実施することとしています。

「道路災害関連事業」とは・・・

災害復旧事業は被災した箇所を元通りにすること（原形復旧）を基本としていますが、「道路災害関連事業」は災害復旧事業に併せて、未被災箇所も含めた一連区間について、災害の防止や交通の支障となっている区間を解消するために改良工事を行うものです。

○ 事業概要

一般国道 342号 道路災害関連事業

事業主体: 岩手県

事業箇所: 岩手県一関市巖美町字茂庭沢地内

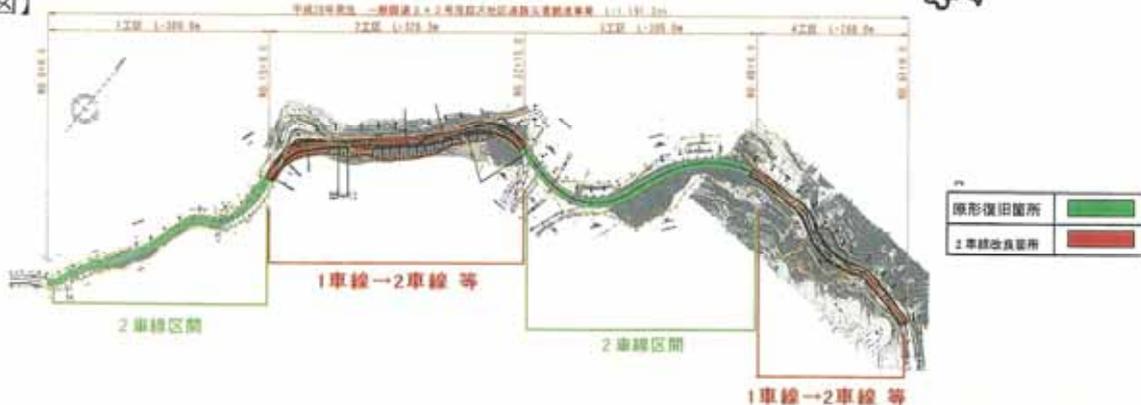
事業延長: L=1,191.3m

事業期間: 平成20年度～平成22年度

事業費: 約3億5千万円



【概略図】



「一般国道455号早坂道路改築事業」

「都市計画道路毛越寺線志羅山地区街路整備事業」

が全建賞を受賞しました！！

「全建賞」は、建設技術の活用並びに公共事業の進め方やストックの運用の工夫等により、特出した成果の得られた、もしくは、特出した成果を得ようとする事業及び施策を社団法人全日本建設技術協会（全建賞審査委員会）が毎年審査・選考し、これらを実施した機関を表彰するものです。

平成19年度全建賞は、各地方協会より239事業の推薦があり、全国で7部門59事業が選出されました。岩手県からは、道路部門で『一般国道455号早坂道路改築事業』、都市部門で『都市計画道路毛越寺線志羅山地区街路整備事業』が選出されました。

『一般国道455号早坂道路改築事業』

＜受賞機関：宮古地方振興局 岩泉土木事務所＞



早坂トンネル（盛岡側坑口）

- ◆事業期間／平成10年度～平成19年度
- ◆事業延長／4,170m(幅員9.5m)
- ◆主要構造物／トンネル1箇所 延長3,115m
橋梁4箇所 全体延長71.4m
- ◆事業費／約9,700百万円

【評価】

トンネルに通常の照明と比べ耐用時間が5倍の無電極放電灯を採用し、維持管理を簡素化。
トンネル坑口にトンネルの湧水を活用したヒートポンプ式消融雪装置を設置し、冬期交通の安全を確保。

(※この事業の詳細は、県土づくりNEWS2007.10月号に掲載しています。)

『都市計画道路毛越寺線志羅山地区街路整備事業』

＜受賞機関：県南広域振興局 一関総合支局土木部＞



街路完成写真

- ◆事業期間／平成8年度～平成19年度
- ◆事業延長／406m(幅員16m)
車道3m×2、歩道2.5～4.5m(両側)
- ◆事業費／約2,380百万円

【評価】

整備箇所が12世紀の平泉の重要な遺構である東西大路跡と重複することから、「高屋の保存」や「大路後の表現」と連続性を持たせ、世界遺産登録予定地にふさわしい整然とした都市の景観を創出。

(※この事業の詳細は、県土づくりNEWS2007.9月号に掲載しています。)

下水道出前講座開催! ~ (財)岩手県下水道公社の取組み~

下水環境課

「下水道ってなに?」、「トイレの水はどこに行くの?」、「下水をどうやってきれいにしているの?」、などなど下水道について皆さんはどれだけ知ってらっしゃいますか?

下水道は、日常生活で欠くことのできない存在でありながら、そのしくみや役割をなかなか知る機会がありませんでした。

そこで、財団法人岩手県下水道公社は、下水道の啓蒙普及を目的として「出前講座」事業を平成19年度からスタートさせました。

このたび、一関市立山目小学校からの依頼で、4年生のみんなに講座を開きましたので、その時の様子をご紹介します。

【日時】 平成20年7月22日(火) 2時限目~4時限目

【場所】 一関市立山目小学校視聴覚室

【対象】 4年生(3クラス計97名 ※1クラス毎に1時限)

【講座の内容】

下水道の歴史や仕組みを説明し、下水中の微生物の映像を見たり、実際の下水の香りを体感したりしました。

【講座の様子】

微生物が下水中のよごれを食べるところの映像を見たときには、「お~!」とか「きもい~」といった声が上がりました。また、処理前の下水のにおいをかいだ時には「くっせ~! きゃあ~」と悲鳴が上がりましたが、処理した後の下水をかいた後には「くさくない! ヘえ~すごい!」とびっくりしていました。質問の時間では、「きれいになった水は飲めるのですか?」、「微生物は何種類いるのですか?」というような発言がたくさん出され、生徒の皆さんに下水道について少しでも興味を持ってもらえたと感じることが出来ました。



下水道の歴史・仕組みを説明

目と匂いでサンプル観察



生徒達の質問の様子



★出前講座は随時受け付けておりますので、下記までお気軽にお問い合わせください。

【問合せ先】 岩手県県土整備部下水環境課

TEL: 019-629-5896 (担当: 長沼)

(財)岩手県下水道公社企画管理課

TEL: 019-638-2623 (担当: 佐々木)

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成21年 ▲ (2009年) 11月号:北山トンネル 開通

美しい 県土づくりNEWS



2009年
11月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌 64号
平成21年11月26日発行
編集 県土整備企画室

目次

- 2 公共事業予算の確保に関する緊急提言を行いました
- 3 一般国道455号『北山バイパス』が開通しました
- 5 一般国道342号矢櫃地区の通行止めを解除
- 6 平内海岸高潮対策事業が完成しました
- 7 釜石港埠頭保安訓練を実施
- 8 築川ダムの出前授業を開催しました
- 9 「清田花フェスタ」開催
- 10 県庁前の国道455号の落葉清掃を実施しました
- 11 鳥海トンネルが貫通しました(一戸町)
- 12 滝ダムの遊覧船就航再開のお知らせ
- 13 いわて花巻空港航空ダイヤのお知らせ
- 14 県民ゴルフ場11月からの特別料金のご紹介

黄金の國、
いわて。

買うなら岩手のもの
いわて

一般国道455号『北山バイパス』全線開通！！
～渋滞緩和、医療機関などへのアクセスが改善～

平成21年10月26日(月)、一般国道455号『北山バイパス』が全線開通しました。

昭和59年度の着手以来、約26年の歳月をかけて事業を進めてきた本バイパスの開通により、盛岡市北山地区の慢性的な渋滞の緩和や、医療機関へのアクセスの改善など、交通の円滑化が図られました。



開通を祝う地域住民の皆さん



開通式のパレード

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成21年 ▲ (2009年) 11月号:北山トンネル 開通

一般国道455号「北山バイパス」が全線開通しました!!

～盛岡市内の慢性的な渋滞が緩和、県立中央病院等医療機関などへのアクセスが改善～

道路建設課
盛岡地方振興局土木部

平成21年10月26日(月)、「北山トンネル」を含む一般国道455号『北山バイパス』の1.4km区間が開通し、昭和59年度の事業着手以来、約26年の歳月をかけて事業を進めてきた全区間7.5km(盛岡市北山の国道4号から同市内米内まで)が開通しました。

開通に先立ち、現地で開通式典を行い、県、市などの関係者や地元住民など、たくさんの人々が『北山バイパス』の開通を祝いました。

先月号では、『北山バイパス』の事業概要を紹介したところですが、今月号では、約26年という長期間に渡った本事業のこれまでの沿革や、開通式の様子などをご紹介します。

【事業目的】

(1) 慢性的な渋滞の緩和

一般国道455号の三ツ割～盛岡市中心部間で、朝夕に発生している慢性的な交通渋滞の緩和

(2) 医療機関へのアクセス改善

岩泉・松園方面から、県立中央病院等医療施設へのアクセス改善

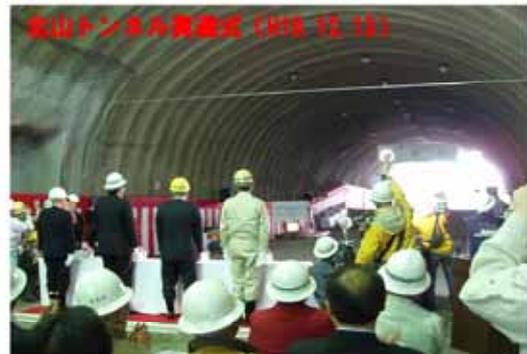
【事業の沿革】

- S59 事業化
- S60.11 「主要地方道盛岡岩泉線北山工区整備計画に関する調査委員会」を設置
- H元.9.29 梨木町上米内線として都市計画道路決定
- H5 主要地方道盛岡岩泉線が国道455号に昇格
- H6.3 洞清水から三ツ割まで2.3km 供用(4車線)
- H11.3 三ツ割から米内まで3.8km 供用(2車線)
- H14.2.24 用地補償契約締結式
- H16.3 北山トンネル本體工着手
- H18.7.26 下り線貫通
- H18.11.22 上り線貫通
- H19.7.12 北山トンネル本體工完成
- H21.10.26 北山トンネルを含む区間1.4km 供用

朝の慢性的な渋滞(開通前)
国道455号 長嶺バス停付近



北山トンネル開通式(10月18日)



【開通前のイベント等】

- ◆ 平成21年10月15日(木) 第1回北山バイパス整備効果検証委員会
整備効果の検証、開通後の道路利用上の観点から意見・提案をいただく委員会を開催(今後2回開催予定)
- ◆ 平成21年10月18日(日) 北山トンネルウォーク
地域住民の方々約700名が参加
- ◆ 平成21年10月20日(火) 防災訓練
消防署・警察署・盛岡地方振興局土木部・盛岡市など約60名が参加し車両事故を想定した訓練を実施



平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成21年 ▲ (2009年) 11月号:北山トンネル 開通

【開通式】

開通式典は、秋雨の降りしきる中、午後1時から北山トンネル三ツ割側坑口付近で行われ、宮舘副知事、谷藤盛岡市長ら関係者約200名が出席し、完成を祝うテープカット、くす玉開被や、盛岡市立上田中学校のプラスバンドによる演奏の中、通り初めパレードを行いました。

沿道には、地元住民の方々も多数駆けつけていただき、『北山バイパス』への期待の大きさを実感しました。

開通式の中で主催者を代表し、宮舘副知事が「一般国道455号は、広域圏の交流を支える重要な幹線道路で、北山トンネルの開通により渋滞解消や中央病院など医療機関へのアクセス向上、沿岸観光地への誘客や農林水産物の物流促進など産業の振興を支える道路として期待される。県は、今後とも安全で安心な生活を支える道路づくりを推進したい。」と式辞を述べました。また、谷藤盛岡市長は「長年の念願である開通はこの上ない喜びであり、渋滞解消、交通の円滑化、利用機関へのアクセス改善は市のさらなる発展に寄与する。」と悲願達成を喜びました。



式辞を述べる宮舘副知事



祝辞を述べる谷藤盛岡市長



盛岡市立上田中学校のプラスバンドによる演奏



供用開始後の状況

【おわりに】

『北山バイパス』は、昭和59年度の事業着手以来、用地取得の難航や、脆弱な地質によるトンネル難工事などで、約26年の長い歳月と総事業費約196億円（内、北山トンネルの工事費約99億円）を要しましたが、この度、無事に開通することが出来ました。また、北山トンネルは、2車線のトンネルを2本併設する構造であり、岩手県が管理する道路トンネルでは初めての構造となります。

今回の開通により、国道455号の盛岡市三ツ割から市中心部間で発生している朝夕の渋滞や、周辺道路の渋滞が緩和し、県立中央病院等の医療機関や市内中心部等へのアクセス向上による交通の円滑化が図られました。

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成23年 ▲ (2011年) 3月号: 東日本大震災前日発行

美しい 県土づくりNEWS

2011年
3月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌 80号
平成23年3月10日発行
編集 県土整備企画室



目次

- 2 三陸縦貫自動車道「釜石山田道路」が部分開通
- 4 「第1回 いわたの道を考える懇談会」を開催
- 5 平成23年度も豪華クルーズ客船が多数寄港
- 6 第8回日本シニアカーリング選手権で「チーム岩手」が優勝
～ 岩手土木センターの阿部主任主査が世界大会出場 ～
- 7 「いわて汚水処理ビジョン2010」を策定
- 9 盛川で「ヨシ焼き」を実施
- 10 鳥海トンネルが開通(一戸町)
- 11 県立都市公園 平成23年度オープンのお知らせ
- 12 道路脇の草刈りに協力いただける団体を募集
- 13 いわた花巻空港新ターミナルビル2周年記念イベントのお知らせ
- 14 明日を担う若手職員を紹介します

(県庁県土整備企画室 鶴巻技師)

黄金の國、
いわて。

希望郷いわて

三陸縦貫自動車道「釜石山田道路」が部分開通！！

～ 沿岸地域の幹線道路ネットワークの構築に一步前進 ～

平成23年3月5日(土)、三陸縦貫自動車道「釜石山田道路」の先行整備区間である釜石両石 IC ～釜石北 IC 間 4.6km(国土交通省施行)と、釜石両石 IC へのアクセス道路である一般県道水海大渡線「女遊部工区」1.4km(岩手県施行)が開通しました。

今回の開通により、隣住居地区の渋滞の緩和や、隘路区間の回避による交通安全の向上、津波等災害時の代替路の確保による防災力の向上が期待されます。



平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成23年 ▲ (2011年) 3月号: 東日本大震災前日発行

三陸縦貫自動車道釜石山田道路が部分開通！！

～ 釜石両石 IC へのアクセス道路一般県道水海大渡線「女遊部工区」も併せて開通 ～

道路建設課

沿岸広域振興局土木部

平成23年3月5日(土)、三陸縦貫自動車道「釜石山田道路」の先行整備区間である釜石両石 IC～釜石北 IC 間の L=4.6km (国土交通省施行) と、釜石両石 IC へのアクセス道路である一般県道水海大渡線「女遊部工区」L=1.4km (岩手県施行) が開通しました。

【概要図】



【開通式】

釜石市民文化会館で開催された開通式典では、主催者を代表して上野副知事から「開通に伴い、鶴住居地区の渋滞の緩和、通過時間の短縮に加え、「恋の峠」の急カーブを避けて安全に通行できるようになった。今後も、「釜石山田道路」の一日でも早い全線開通を期待するとともに、「三陸縦貫自動車道」をはじめとする幹線道路ネットワークの早期全線開通に向けて取り組みたい。」と挨拶。また、野田釜石市長からは、「昨年のチリ地震津波では迂回路がないため混乱した。市民生活の課題が解消され、企業誘致や大槌町との交流促進にもつながる。」との喜びの言葉がありました。現地式典では、晴天にも恵まれ、両石虎舞保存会「虎舞演舞」で式典を盛り上げ、関係者によるテープカット、くす玉開披を行い、開通を祝いました。



平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成23年 ▲ (2011年) 3月号: 東日本大震災前日発行

式典後、釜石両石 IC 側から記念パレードが行われたほか、開通前の道路を歩く「釜石山田道路ウォーキング」が行われ、地域の方々約 430 人が参加しました。



【整備効果】

今回の開通に伴い、南北を結ぶ唯一の幹線道路である国道 45 号の鶴住居地区で発生していた朝夕の慢性的な渋滞が緩和されるとともに、通過時間で約 1 分半の時間短縮が図られました。

また、現在の国道 45 号の「恋の峠」などにおける急カーブ、急勾配区間の回避により安全で円滑な交通が確保されるとともに、津波等災害時の代替路・輸送道路が確保され、地域の防災力の向上も期待されます。

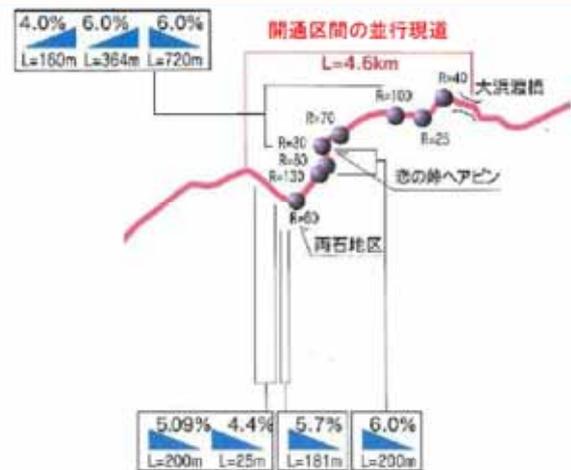
- ①「恋の峠」線形不良区間を回避
急カーブ(100m未満:8箇所 最小色線半径25m)
- ②緊急時の代替路・輸送道路の確保
代替路が無く、通行止め時には大きな迂回
- ③両石から鶴住居地区の渋滞を緩和
最大渋滞長1,300m(鶴住居地区実測)

快適・安全・安心の確保

- ④定時性・速達性の確保
国道45号両石～片岸地内
所要時間 7.1分(実測)

所要時間 5.6分
約1分半短縮

※ 国道 45 号からのアクセス道路分を含む。



▲ 並行区間の陸路状況

整備前の国道 45 号の渋滞状況 (鶴住居交差点付近)



「釜石山田道路」開通後の状況



出典：三陸国道事務所

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成23年(2011年) ▲ 4月号: 東日本大震災直後の発行



美しい 県土づくりNEWS

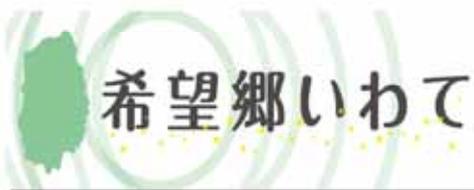


岩手県 県土整備部
手づくり広報誌 81号
平成23年4月20日発行
編集 県土整備企画室

目次

- 2 平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波災害に伴う 県土整備部の対応状況等

黄金の國、
いわて。



東日本大震災特集号！！

～ 大災害からの復興に向かって「がんばろう！岩手」～

平成23年3月11日14時46分頃、東日本大震災(平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波災害)が発生しました。県内では、最大震度6弱を観測したほか、地震によって発生した最大8.5mを超える大津波が三陸沿岸地域を襲い、市街地がほぼ壊滅するほどの被害を受けた地域もあるなど、各地に甚大な被害が発生しました。

県では、この未曾有の大災害を県民一丸となって乗り越えるため、発生から1ヶ月が経過した4月11日に「がんばろう！岩手」宣言を行いました。県民のみなさんと力を合わせ、1歩ずつ復興に取り組んでいきます。



陸前高田市の状況(被災後)

(被災前)

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成23年(2011年) ▲ 4月号: 東日本大震災直後の発行

平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波災害 に伴う県土整備部の対応状況等

県土整備企画室

平成23年3月11日14時46分頃、三陸沖を震源とするM9.0の平成23年東北地方太平洋沖地震が発生しました。この地震は、日本の観測史上類を見ない規模の大地震であり、1900年以降に世界で発生した地震の中でも4番目の規模となる大地震でした。

県内では、最大震度6弱を観測したほか、地震によって発生した最大8.5mを超える大津波が陸前高田市、大船渡市、釜石市などの三陸沿岸地域を襲い、陸前高田市、大槌町、山田町、宮古市（田老地区）などでは壊滅的な被害が発生しました。この地震及び津波による被害は、平成23年4月19日17時現在で死者4,047名、行方不明者3,759名、家屋倒壊数18,787棟となっていますが、未だ被害の全容は明らかになっていません。

公共土木施設の被害は、国土交通省所管の防潮堤延長約25kmの約5割にあたる約14km区間に被害が発生し、このうち約2割にあたる約5kmは全壊するなど、海岸関係だけで46箇所、約1,290億円の被害となり、県、市町村合わせた全体の被害額は、平成23年4月5日現在で2,567億円余りとなっています。

県では、この未曾有の大災害を県民一丸となって乗り越えるため、発生から1ヶ月が経過した4月11日に、達増知事が釜石市で「がんばろう！岩手」宣言を行いました。

全国、そして世界中からいただいたお見舞いや励ましを糧に、県民のみなさんと力を合わせ、一歩ずつ復興に取り組んでいきます。

【東日本大震災津波の概要】

- (1) 発生日時：平成23年3月11日 14時46分頃
- (2) 震央地名：三陸沖（北緯38.1度、東経142.9度）
- (3) 震源の深さ：24km
- (4) 規模：マグニチュード9.0（暫定値）
- (5) 本県の震度：震度6弱
（大船渡市、釜石市、滝沢村、矢巾町、花巻市、一関市、奥州市）
- (6) 津波：11日 14時49分 大津波警報発表

検潮所	第1波	最大波
宮古	11日 14時48分 押し0.2m	11日 15時26分 8.5m以上
釜石	11日 14時45分 引き0.1m	11日 15時21分 4.1m以上
大船渡	11日 14時46分 引き0.2m	11日 15時18分 8.0m以上

平成

令和

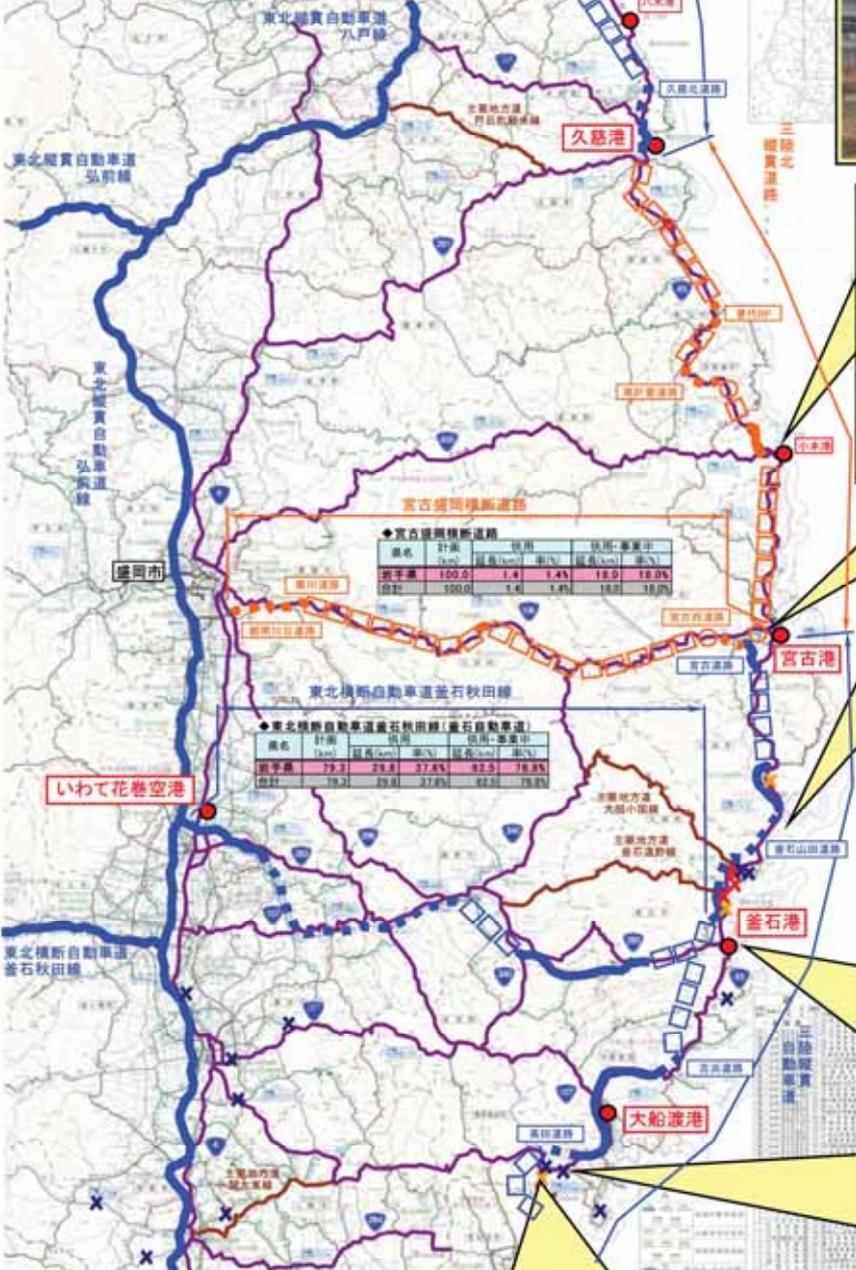
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6
 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

平成23年(2011年) ▲ 4月号: 東日本大震災直後の発行

平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波災害に伴う公共土木施設の被害状況等

◆三陸沿岸の高規格幹線道路等

種別	計画 (km)	供用 (km)	供用-事業中 (km)	備考		
青森県	20.0	7.2	38.0%	17.2	89.5%	八戸-久慈自動車道
岩手県	20.0	2.2	10.7%	10.8	53.3%	八戸-久慈自動車道
宮城県	102.0	4.2	3.8%	44.0	42.1%	宮城-気仙沼道路
福島県	121.0	74.4	61.5%	102.0	83.8%	三陸復興自動車道
合計	264.0	178.8	26.4%	216.8	82.1%	



◆宮古復興幹線道路

種別	計画 (km)	供用 (km)	供用-事業中 (km)	備考	
岩手県	100.0	1.4	1.4%	18.0	18.0%
合計	100.0	1.4	1.4%	18.0	18.0%

◆東北横断自動車道釜石秋田線(釜石自動車道)

種別	計画 (km)	供用 (km)	供用-事業中 (km)	備考	
岩手県	73.3	21.8	29.8%	42.0	57.3%
合計	73.3	21.8	29.8%	42.0	57.3%



- 【凡例】
- 高規格幹線道路
 - : 供用中
 - ■ ■: 事業中
 - □ □: 計画区間
 - 地域高規格道路
 - ■ ■: 供用中
 - ■ ■: 事業中
 - □ □: 計画区間
 - ○ ○: 調査区間
 - : 港湾・空港
 - <道路の通行止め状況>
 - ×: 全面通行止め(国管理) (迂回路有り)
 - ×: 全面通行止め(県管理) (迂回路無し)
 - ×: 全面通行止め(県管理) (迂回路有り)

※ 全面通行止め箇所は平成23年4月12日17時時点

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成23年(2011年) ▲ 4月号: 東日本大震災直後の発行

【「がんばろう！岩手」宣言】

～ 「がんばろう！岩手」宣言 ～

3月11日の東日本大震災津波から1ヵ月が経ちました。

岩手では、大勢の方が犠牲となり、行方不明となっている方も数多くいます。また、多くの方が家を失うなどして、避難生活を強いられています。

岩手は、これまで、明治、昭和の三陸大津波や、カスリン、アイオン台風、チリ地震津波、岩手・宮城内陸地震など、何度も大きな自然災害に見舞われてきました。しかし、先人は、決してくじけず、これらの苦難を乗り越えてきました。今回の大災害も、岩手の豊かな自然のもと育まれてきた自立と共生の心があれば、必ずや克服することができます。

宮沢賢治は、「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」という言葉を残しました。

私たち岩手県民は、皆で痛みを分かち合い、心を一つにして、被災された方々が「衣」「食」「住」や「学ぶ機会」「働く機会」を確保し、再び幸せな生活を送ることができるようにしていきます。また、犠牲となられた方々のふるさとへの思いをしっかりと受け止め、引き継いでいきます。

どんなに長く厳しい冬が続いても、暖かい春は必ず訪れます。

全国、そして世界中からいただいたお見舞いや励ましを糧に、県民みんなで力を合わせ、希望に向かって一歩ずつ復興に取り組んでいくことを誓い、「がんばろう！岩手」をここに宣言します。

平成23年4月11日

岩手県民を代表して 岩手県知事

達増拓也

平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波災害に伴う県土整備部の対応状況等については、こちらの県土整備部HPをご覧ください（県土整備部（東北地方太平洋沖地震災害情報））。

<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=4266&ik=3&pnp=66&pnp=4266>



美しい 県土づくりNEWS

2012年
11月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第100号
平成24年11月29日発行
編集 県土整備企画室

三陸復興

目次

- 2 「復興道路」の整備をかつてないスピードで進めています！
- 4 「東北横断自動車道釜石秋田線（宮守～東和間）走行体験会」を開催
- 5 高田西地区復興整備工事安全祈願祭を開催！
- 6 第9回岩手「道の駅」いーはとーぶスタンプラリー開催のお知らせ
- 7 特集 美しい県土づくりNEWS創刊100号

沿岸と内陸を結ぶ「復興道路」 宮守～東和間が開通！

～ 三陸沿岸の復興は、「復興道路」の整備から！ ～

平成24年11月25日(日)、東北横断自動車道釜石秋田線(宮守～東和間)の延長約24kmが開通しました。

本路線は、岩手県東日本大震災復興計画において、三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路と共に「復興道路」に位置付けている路線です。震災後、県内では「復興支援道路」や「復興関連道路」の開通が行われてきましたが、「復興道路」の開通は今回が初めてとなっています。

当日は、平野復興大臣や国土交通省前川道路局長のほか、本県からは達増知事も出席し、開通を祝いました。今後、被災地の復旧・復興には、内陸からの支援が必要不可欠であり、今回の開通により、沿岸地域の復興が加速することが期待されます。



平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成24年(2012年) 11月号: 第100号

陸前高田市 津波防災拠点市街地形成施設事業（高田西地区）

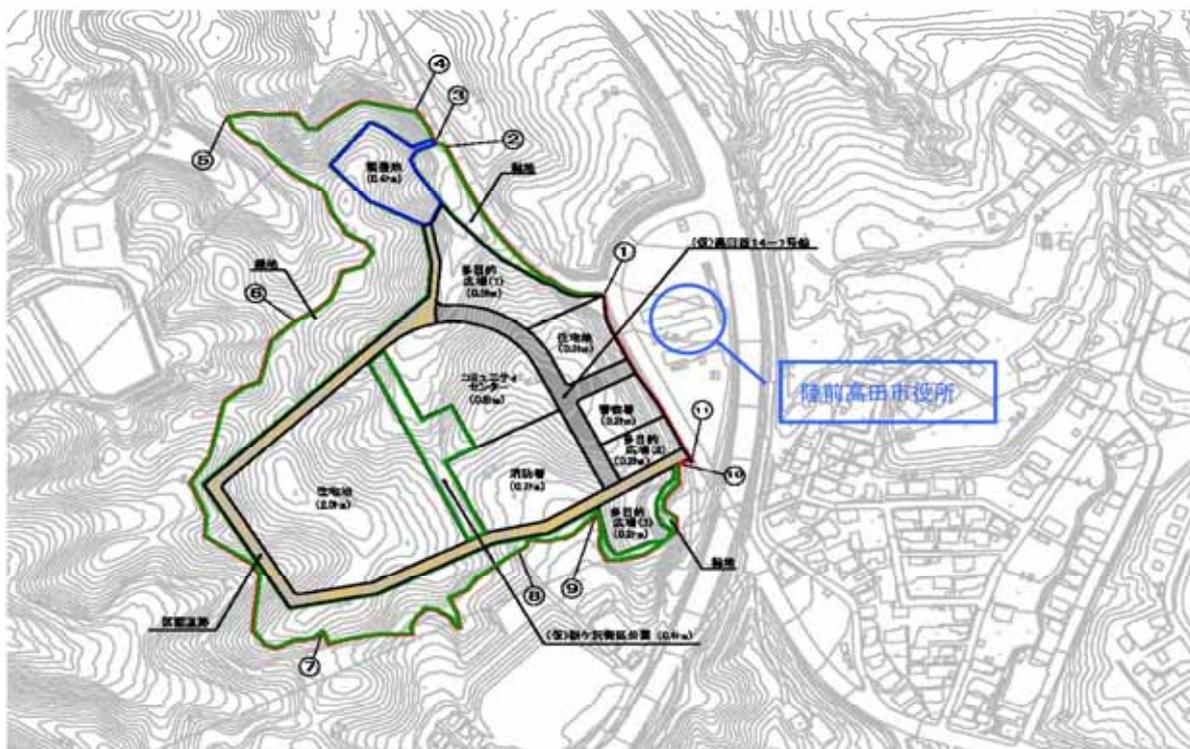
高田西地区復興整備工事安全祈願祭を開催

大船渡土木センター

平成24年11月21日、陸前高田市高田町において、陸前高田市の津波防災拠点市街地形成施設事業（高田西地区）で施工される高田西地区復興整備工事の安全祈願祭が行われました。

当日は、市、県、土地開発公社、施工業者の関係者約40人が出席し、神事では陸前高田市戸羽市長、県土地開発公社佐藤理事長らが玉串を捧げました。

津波防災拠点市街地形成施設事業の高田西地区は、市と実施協定を結んでいる県土地開発公社が発注者となり、現地ではすでに立木伐採が行われています。造成工事は、面積約9.6haで平成26年3月までに実施される予定であり、地区内には、高田幹部交番、消防署、コミュニティセンター、災害公営住宅（県営）、街区公園、多目的広場が配置される予定です。今後の復旧・復興事業の更なる進捗が期待されます。



平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成24年(2012年) ▲ 11月号: ✨ 第100号 ✨

「復興道路」の整備を かつてないスピードで進めています!

道路建設課

東日本大震災津波を受け、県では、災害に強い高規格道路による幹線道路ネットワークの構築を被災地の復興に不可欠なものとして、三陸沿岸地域の縦貫軸である「三陸沿岸道路*」及び沿岸部と内陸部を結ぶ横断軸となる「東北横断自動車道釜石秋田線」「宮古盛岡横断道路」を「岩手県東日本大震災津波復興実施計画」において「復興道路」と位置づけ、国に対し早期の全線開通を強く要望してきました。

※ 三陸沿岸道路：三陸縦貫自動車道、三陸北縦貫道路、八戸・久慈自動車道の総称

これを受けた国は、震災復興のリーディングプロジェクトとして、県が整備を要望していた未着工区間の新規事業化を昨年11月に決定しました。11月25日には、東北横断自動車道釜石秋田線(宮守～東和間)を当初の予定から約4ヶ月も早く開通させるなど、本県の悲願であった高規格道路ネットワークの構築に向けて、国をはじめとする関係機関が一丸となって、かつてないスピードで進めています。

東北横断自動車道釜石秋田線(宮守～東和間) 事業概要

11月25日開通!



延長 約24km
 事業費 約542億円
 事業期間 H10～H24
 事業主体 (H10～H15)
 日本道路公団
 (H15～H24)
 国土交通省

復興をけん引する期待の大動脈の全線開通に向け、大きな一歩を踏み出しました!



宮守ICから東側も早期開通を目指して工事を進行中です!



平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成24年(2012年) ▲ 11月号: ✨ 第100号 ✨

東北横断自動車道(宮守～東和間) 開通状況写真



東北横断自動車道は東和ICから東側(釜石市方面)の区間は無料で通行できます。

お仕事、通勤、ドライブなどなど、お気軽にご利用ください!



今回の開通で、内陸と沿岸の結びつきが強まり、物流や観光など産業面での地域間交流の活性化が期待されます。

「即年着工」起工式を開催しました!

11月4日に釜石花巻道路* (釜石～釜石西)、11月18日には三陸沿岸道路(宮古中央～田老)において、『即年着工』起工式が開催されました。

* 東北横断自動車道釜石秋田線の一部

事業着手から工事着工までには、測量・調査・設計、土地利用の手続き、用地調査、用地買収を行う必要があることから、通常の道路事業においては約4年ほどの期間が必要です。

『復興道路』においては、復興のリーディングプロジェクトとして地域一体となって事業を進めた結果、事業化から1年以内の着工(『即年着工』)が実現しました。



11.4 釜石花巻道路(釜石～釜石西)



11.18 三陸沿岸道路(宮古中央～田老)

三陸地域の復興は「復興道路」の整備から!



美しい 県土づくりNEWS

2014年
2月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第115号
平成26年2月27日発行
編集 県土整備企画室



三陸復興

目次

- ◆2 災害公営住宅整備状況
- ◆3 復興県土づくりシンポジウム・東北復興フォーラム in 岩手を開催しました！
- ◆5 「建設業新分野・新事業発表フォーラム」を開催！
- ◆6 「いわてポートセミナー2014」を開催！
- ◆7 大槌川河川災害復旧仮堤防工事安全祈願祭開催
- ◆8 いわて花巻空港 台湾への定期チャーター便決定！
- ◆9 いわて花巻空港 2014上期航空ダイヤ決定！

災害公営住宅「県営平田アパート」完成！

～ 災害公営住宅 県営第1号 ～

県が釜石市平田地区(旧県立釜石商業高校跡地)に整備を進めてきた災害公営住宅が平成26年1月に完成しました。

県営の災害公営住宅としては第1号となるもので、7階建て126戸の規模は、これまで県内に完成した災害公営住宅のなかでは最大です。

建物は、バリアフリー仕様で、遮音性や断熱性を確保するなど、誰もが安全で快適に生活できるように配慮しています。また、団地内には、備蓄倉庫を設けるなど、地域の防災拠点としての役割も担っています。

入居は、既に2月1日から始まっています。被災された方々の暮らしの安定や、地域の復興につながることを願っています。



平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成26年(2014年) ▲ 2月号: 災害公営住宅 完成 等

◆ 災害公営住宅整備状況 ◆

建築住宅課

東日本大震災津波からの復興に向け、災害公営住宅の整備が本格化しています。

今年1月には、木造の「野田村門前小路第2地区」、県営第1号の「釜石市平田地区」が新たに完成しました。また、完成・工事中の12地区に加え、年度内にはさらに5地区で発注を予定しており、年度末までに工事発注ペースで約1,000戸（累計）の進捗に達する見通しです。

被災者の一日も早い住宅確保のため、引き続き早期整備に向けて取り組んでいきます。



野田村門前小路第2地区（H26.1月完成）※野田村に引渡済

■ 現在の整備状況（H26.1月末現在）

○ 計画戸数

全体整備戸数	県整備戸数	市町村整備戸数
6,038 戸	2,850 戸	3,188 戸

○ 全体の進捗状況（県整備分）

整備計画	地権者内諾済	設計発注済	工事発注済	完成
2,850 戸	2,251 戸	2,028 戸	851 戸	218 戸

○ 工事の状況（県整備分）

【完成済の箇所】

市町村	地区名	構造	戸数	着工	完成
野田村	門前小路第1	木造2階建	8	H24.11.15	H25.3.25
	門前小路第2	木造平屋建	18	H25.4.19	H26.1.15
大槌町	吉里吉里	RC造5階建	34	H24.10.24	H25.8.19
釜石市	平田	RC造7階建	126	H24.9.13	H26.1.24
	野田	RC造5階建	32	H24.9.13	H25.10.17

【工事中の主な箇所】

市町村	地区名	構造	戸数	着工	完成予定
山田町	豊間根	鉄骨造3階建	72	H25.7.16	H26.5 頃
大槌町	屋敷前	RC造5階建	151	H25.7.16	H27.3 頃
大船渡市	下欠	RC造3階建	33	H25.10.26	H26.9 頃
	上平	RC造7階建	65	H25.12.10	H27.5 頃
	長谷堂	RC造3階建	53	H25.12.10	H27.3 頃
陸前高田市	中田	RC造8階建	197	H25.10.26	H27.6 頃
	柳沢前	RC造3階建	28	H25.10.26	H26.11 頃



釜石市野田地区（H25.10完成）※釜石市に引渡済



山田町豊間根地区（H26.5完成予定）



大船渡市綾里地区（H26.3着工予定）※設計施工一括選定方式



陸前高田市 中田地区（H25.10着工）



大船渡市 上平地区（H25.12着工）

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成26年(2014年) ▲ 2月号: 災害公営住宅 完成 等

「復興県土づくりシンポジウム・東北復興フォーラム in 岩手」を開催しました!

～本格復興へ向け 応援職員が復興を熱く語る～

県土整備企画室
建設技術振興課

平成26年2月6日から7日の2日間、東日本大震災津波からの復旧・復興現場における取組事例の発表等を通じて、復興の現状や課題を共有し、広く県内外に情報発信することを目的に、盛岡市において『復興県土づくりシンポジウム・東北復興フォーラム in 岩手』を開催しました。

本シンポジウムでは、他府県からの応援職員等が岩手県での取組内容を発表したほか、被災3県の現状報告、応援職員によるトークセッションを行いました。

当日は応援職員を派遣いただいている派遣元の都府県の職員をはじめ約250名が参加し、立見が出るほどの盛況で、参加者は応援職員の復興への熱い思いに触れ、本格復興へ向けて思いを新たにしました。

初日の様子をご紹介します。



応援職員による取組発表

各都府県から岩手県に派遣されている応援職員8人が、県内での住宅復興の取組や河川・海岸の災害復旧・津波対策施設の復旧など、土木技術を中心に発表を行いました。

このうち、静岡県の派遣職員である建築住宅課の山口主査からは、岩手県での住宅復興の取組経験を踏まえて、今後静岡県が災害に備え準備しておくべきこととして、用地対策として応急仮設住宅を2階建にするなど、いくつかの提案がなされました。

大船渡土木センターの富山主査、川端技師、上田技師（大阪府派遣）からは、「復興事業への戸惑いと取組課題について」と題し、大阪府との言葉や業務の仕組みの違いなどをユーモアを交えて紹介しながら、携わる道路整備事業の状況や課題について語っていただきました。

また、地域への支援として、大阪府の高校生を招き地元との交流活動を行うなど、業務以外の活動なども熱く語っていただきました。



建築住宅課 山口主査(静岡県)



沿岸土木 八木主査(静岡県)



沿岸土木 岩本技師(東京都)



大船渡土木 川端技師、上田技師、富山主査(大阪府)



大船渡土木 中島技師、石本主任(大阪府)

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成26年(2014年) ▲ 2月号: 災害公営住宅 完成 等

講演「被災3県の復興の取組と課題について」

今年度は、昨年度から被災3県で順次開催している東北復興フォーラムとして、被災3県の復興の進捗や課題について各県の土木部長等が講演を行いました。

宮城県土木部の遠藤部長からは、復興まちづくり事業について、具体事例を紹介しながら説明が行われたほか、岩手県と同様、施工確保やマンパワー不足などの課題に向けた取組みについて説明がありました。福島県土木部の渡辺部長からは、被災直後の放射線への対応の緊迫した様子や浜通りの復旧・復興の状況について説明が行われました。



岩手県 佐藤県土整備部長



宮城県 遠藤土木部長



福島県 渡辺土木部長

応援職員によるトークセッション ～助っ人たちが語る岩手・復興への熱い思い～

現在岩手県に派遣中の応援職員3名と平成24年度に派遣されていた元応援職員3名に参加いただき、トークセッションを行いました。タレントのふじボンさんを司会進行に、派遣のきっかけや岩手での生活・思い出を紹介いただいたほか、復興への取組や課題について熱く語っていただきました。

このうち、建築住宅課で災害公営住宅を担当する高橋技師(川崎市派遣)からは、建設用地が少なく苦労している点などが語られたほか、元応援職員の愛知県松浦主査からは、震災の記憶の風化への懸念や復興の現状を伝えることの意義などが語られました。

一緒に登壇した佐藤県土整備部長は、「応援職員の活躍は心強い。復興は緒に就いたばかり。歴史を刻む仕事をともに一緒に頑張りたい。」と話しました。



建築住宅課 高橋技師 (川崎市)



宮古土木センター 福澤主査 (長野県)



大船渡土木センター 八尾主査 (大阪府)



静岡県 山本主査



愛知県 松浦主査



大阪府 伊藤主査



美しい 県土づくりNEWS



2014 年
10 月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第 123 号
平成 26 年 10 月 31 日発行
編集 県土整備企画室



三陸復興

目次

- ◆2 一般国道 397 号「津付道路」事業概要
- ◆4 一般国道 106 号宮古西道路 (仮称) 松山トンネルが貫通!!
- ◆6 片岸海岸河川等災害復旧事業 (釜石市片岸町内) の用地取得が完了
- ◆8 「浄化槽出前講座」を開催しています!
- ◆10 いわて花巻空港秋季台湾定期チャーター便運航スタート!!
- ◆11 「岩手×東京 花の絆プロジェクト」
- ◆15 釜石・大槌・遠野地区の女子高校生を対象に「女性のための建設業の仕事見学会」を開催しました!
- ◆17 第 11 回岩手『道の駅』いーはとーぶスタンプラリー開催のお知らせ

一般国道397号「津付道路」が開通しました

～東日本大震災津波からの復興を加速させる復興支援道路の開通～

平成 26 年 10 月 26 日(日)、一般国道 397 号「津付道路」が開通しました。

さわやかな秋晴れそして紅葉が映える中、開通に先立ち 11 時から、住田町長、大船渡市長、陸前高田市長、関係地権者、県議会議員、県・気仙 3 市町の自治体関係者など約 70 名の出席のもと、**開通式**が盛大に開催されました。

式では、子飼沢橋の橋名板の揮毫をいただいた世田米小学校の児童による作文発表、テープカット・くす玉開披、地元住田町の郷土芸能「大股神楽」の披露、開通記念パレードなどのセレモニーが行なわれました。

その後、**午後 3 時から一般通行を開始**し、開通を心待ちにされていた地元の皆様など多くの方々
が新しい道路の開通を喜んでいました。



テープカット・くす玉開披



佐々木沿岸広域振興局長式辞



郷土芸能「大股神楽」



パレード

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成26年(2014年) ▲ 10月号:津付道路 開通

一般国道397号「津付道路」事業概要

沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター津付ダム建設事務所、河川課、道路建設課

一般国道397号は、大船渡市から住田町、奥州市を経て秋田県横手市に至る、産業振興や救急医療、地域間の交流を支える幹線道路として大きな役割を果たしているほか、災害が発生した場合に優先的に交通の確保を図る緊急輸送道路にも指定している重要な路線であり、岩手県東日本大震災津波復興計画（復興実施計画）において復興支援道路に位置付け、重点的に整備を進めています。

「津付道路」は、気仙川流域の住民を洪水被害から守るために大股川に計画された津付ダムによって水没する付替国道として整備されたものです。ダム建設は平成23年の東日本大震災津波によって治水対策を見直し中止となりましたが、震災以後『復興支援道路』として事業を継続し、平成17年度から調査設計を進め、19年度には工事に着手し、約10年の歳月を経て、住田町高屋敷地区から子飼沢地区までの約2.7キロメートルが完成しました。

【津付道路の概要】

延長	幅員	事業費	事業期間	設計速度	最急縦断勾配
2,660m	土工区間 9.5m 構造物区間 8.0m	約69億円	平成17年度 ～平成26年度	60km/h	4%



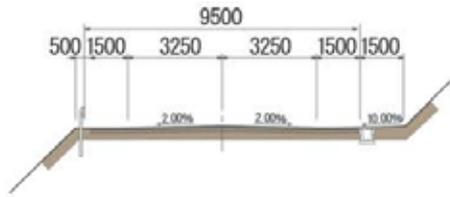
平成

令和

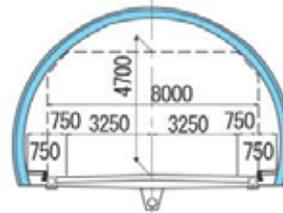
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成26年(2014年) ▲ 10月号:津付道路 開通

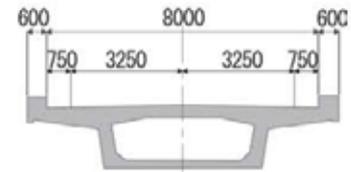
標準断面



トンネル断面



橋梁断面



【整備による効果】

●走行性の向上

- ・せまい道路幅員が解消され、大型車のはみだし走行がなくなります。
- ・急勾配、急カーブが解消され、快適な走行ができます。冬期間の円滑な通行も図られます。
- ・走行性が良くなると交通の安全性が高まります。



大型車のすれ違いが困難な道路幅員

●大船渡～岩手県内陸部の交流・物流条件の向上

- ・津付道路の整備により、距離で約1kmもの短縮、時間で約1分の短縮が図られます。



H15.5.26 南三陸地震による法面崩壊

●災害に対する安全性の向上

- ・大雨や地震による急峻地形に起因する法面崩壊、土砂崩れに対する安全性の向上が期待できます。

【橋名板、トンネル銘板の揮毫】

橋名板とトンネル銘板の名前の揮毫は、地元小学校・中学校の児童・生徒の皆さんに書いて頂きました。橋名板は揮毫した児童の皆さんを現場に招待し、取り付けしてもらいました。また、トンネル銘板を揮毫した生徒の皆さんには、1/15（縦4cm×横20cm）サイズの銘板レプリカを製作し、記念として贈りました。



出来上がった橋名板を手にする児童の皆さん



橋名板を児童の手で橋梁に取付



記念の銘板レプリカを手にする生徒の皆さん



トンネル銘板のレプリカ

【完成にあたって】

『津付道路』は、先祖伝来の貴重な土地を御提供いただきました地権者の皆様の深い御理解と御協力、地元住田町をはじめとする関係機関の皆様の多大な御尽力により、完成の日を迎えることができました。

今後も、沿岸地域の復旧・復興に大きな役割を担う本路線をはじめとした復興道路等の整備に引き続き努めるなど、復興を強力に推し進めてまいります。



美しい 県土づくりNEWS

目次

- 2 主要地方道二戸五日市線「浄法寺バイパス」全線開通
- 4 一般県道吉里吉里釜石線 室浜トンネルが貫通！
- 6 主要地方道北上東和線『平成大橋』開通式
- 8 住宅相談会を開催しています！
- 10 奥州市道谷子沢南前川山線が開通しました！
- 12 復興の現場見学会 in 高田松原
- 13 平成 27 年度インターンシップ実習について
- 15 いわて花巻空港 FDA 名古屋線 利用者 40 万人到達！！
- 16 宮古市道北部環状線の現場見学会を開催！
- 18 「スカイフェスタ 2015」報告



岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第 134 号
平成 27 年 9 月 30 日発行
編集 県土整備企画室



祝 浄法寺バイパス開通

～ 二戸市内と八幡平市さらには秋田県北とのアクセス向上 ～

平成 27 年 9 月 19 日 (土)、前日からの雨も上がり涼やかな秋空の下、「主要地方道二戸五日市線 浄法寺バイパス開通式」が行なわれました。

浄法寺バイパスは、平成 8 年度に事業着手し、20 年の歳月をかけて整備が進められ、今回、3.6km 全線を開通することができました。

また、浄法寺バイパス中間部に接続する二戸市道役場線「浄法寺大橋」(市町村道代行事業として県が実施)も同日併せて開通しました。



浄法寺バイパス開通式におけるテープカット・くす玉開披

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成27年(2015年) 9月号 ▲ 浄法寺バイパス 開通

主要地方道二戸五日市線「浄法寺バイパス」全線開通

二戸土木センター
道路建設課

主要地方道二戸五日市線は、二戸市と八幡平市を結ぶ幹線道路であるとともに、新幹線二戸駅と岩手県内陸地域さらには秋田県北地域とを結ぶアクセス道路となっています。

しかし、浄法寺市街地においては、道路幅員が狭く、見通しの悪いカーブが多く、また歩道がないため、広域的な幹線道路としての利用のほか、地域の生活道路としても利用されている中で、車両や歩行者の安全が確保できていない状況でした。

浄法寺バイパスの全線開通により、広域的な交流・物流の促進と浄法寺市街地を通過する交通がバイパスに移り市街地の道路環境の向上が期待できます。



【開通式】

主要地方道二戸五日市線「浄法寺バイパス」と二戸市道役場線「浄法寺大橋」の両道路合同の開通式では、県北広域振興局長と二戸市長の式辞、県議会副議長等の来賓の方々の祝辞をいただき、「浄法寺大橋」ではテープカットと渡り初めを、「浄法寺バイパス」ではテープカット、くす玉開披とパレードを実施しました。

当日は、浄法寺まつり初日でもあり、渡り初めには地元郷土芸能や山車も参加し、沿道にはたくさんの地元の方々がかけつけてくださり、たいへん賑やかな開通式となりました。



平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成27年(2015年) 9月号 ▲ 浄法寺バイパス 開通



沿道にはたくさんの地元の方々!



「浄法寺大橋」テープカット



浄法寺まつり山車の参加も

「浄法寺大橋」渡り初め



浄法寺まつり「七ツ物」披露



「浄法寺バイパス」テープカット及びくす玉開披



「浄法寺バイパス」パレード



二輪車愛好家団体の参加も

【二戸市協力によるイベント】

二戸市協力のもと、開通前の浄法寺バイパスで各種イベントを開催しました。

9/5 浄法寺バイパス開通記念
二戸市民マラソン



9/16AM 浄法寺中学校
校内ロードレース大会



9/16PM 浄法寺小学校
記念学習会



美しい 県土づくりNEWS



目次

- 2 (主) 重茂半島線大沢～浜川目工区 (仮称) 大沢トンネルが貫通!
- 3 平成 28 年発生災害の災害査定が終了!
- 4 JAL「新 JAPAN PROJECT 岩手」始動!
- 5 宮古・室蘭フェリー航路開設をPR!
- 6 ハード・ソフトの両面から防災意識を共有
～いわて三陸復興フォーラム「安全の確保」報告会～
- 10 県土整備部の職場紹介～建築住宅課～
- 11 県土整備部の職場紹介
～県北広域振興局土木部二戸土木センター～

2017 年
1 月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第 150 号
平成 29 年 2 月 7 日発行
編集 県土整備企画室



三陸復興

(主) 重茂半島線 (仮称) 大沢トンネル貫通!

山田町

～平成 29 年度の供用に向け大きく前進～

県が「復興関連道路」として下閉伊郡山田町大沢～浜川目地内で整備を進めている主要地方道重茂半島線大沢～浜川目工区 (以下、「本工区」という。) において、平成 29 年 1 月 10 日に、(仮称) 大沢トンネル (L=265m) が貫通しました。県が復興関連道路として整備を進めている (主) 重茂半島線のまちづくり連携道路整備事業では、初めてのトンネル貫通となります。



発破によりトンネルが貫通!

平成 28 年 7 月の掘削工事着手から約 6 か月での貫通となりました

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成 29 年 (2017 年) 1 月号 ▲ ✨ 第 150 号 ✨

【復興関連道路】

(主)重茂半島線大沢～浜川目工区 (仮称) 大沢トンネルが貫通！

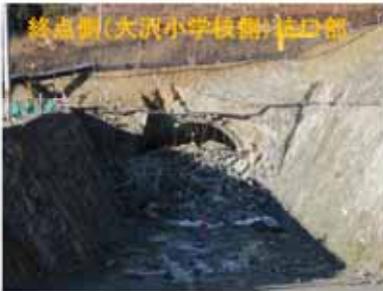
～ つなごう！復興のために 進もう！復興のその先へ～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

(仮称) 大沢トンネルは、平成 28 年 7 月 11 日に安全祈願祭を開催し、これまで、国道 45 号側から本体工の掘削工事を進めてきました。

県関係者や工事関係者等約 30 名がトンネル貫通の瞬間を見届け、貫通後には、宮古土木センターの久保田道路整備課長の音頭により、参加者一同の盛大な万歳三唱で、貫通を祝いました。今後は、トンネル内部をコンクリートで覆う工事や、排水施設の設置等を進めていきます。

今年は、“復興の先を見据えた地域振興に取り組んでいく重要な年”であり、本工区についても平成 29 年度の供用に向けて全力で事業を推進し、復興の更なる展開につなげていきます。



【(主)重茂半島線大沢～浜川目工区の詳細概要】

県では、岩手県東日本大震災津波復興計画に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保し、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築することを目的として、三陸復興道路整備事業を実施しています。

(主)重茂半島線は、三陸復興道路整備事業の「復興関連道路」に位置付け、県が重点的に整備を進めています。このうち、下閉伊郡山田町で事業を進めている大沢～浜川目工区は、多重防災型まちづくり連携推進事業(まちづくり連携道路整備事業)として山田町が施行する漁業集落防災機能強化事業、土地区画整理事業等の復興まちづくりと連携し、東日本大震災津波と同等の津波が発生した場合でも浸水しない道路を整備することにより、高台に整備される3箇所の住宅団地(大沢第1住宅団地、大沢第2住宅団地、浜川目住宅団地)をつなぎ、災害時等における確実な緊急輸送や代替機能等を確保します。

事業概要図



美しい県土づくりNEWS 2017 年 1 月号

県土整備部の職場紹介 No.14
 県北広域振興局土木部二戸土木センター

地域概要

二戸土木センターの所管区域は、二戸市、一戸町、軽米町および九戸村の4市町村で、北東北（青森・秋田・岩手）3県の中央部に位置しています。
 管内の主な道路は、八戸自動車道、国道4号、国道340号及び国道395号のほか、主要地方道11路線、一般県道14路線であり、また、河川は、一級河川馬淵川水系および二級河川新井田川水系の17河川があります。
 当管内においては、平成元年に東北縦貫自動車道が全線開通、さらには平成14年に東北新幹線二戸駅が開業したことにより、本地域の担う役割は大きなものとなり、北東北3県の結節点として重要な地域の一つとなっています。



組織体制

○平成 28 年度組織キャッチコピー

成し遂げよう、震災復興！つなげよう、魅力あふれる県北圏域の未来へ！

○組織の特徴

当センターの組織は、所長以下5課および1スタッフで構成され、職員数は、正職員 27 名と臨時職員等 19 名の総数 46 名の体制です。

今年度の主な取組

1. 一般国道 395 号赤石峠工区

一般国道 395 号は、内陸の二戸と沿岸の久慈を結ぶ県内最北端の横断道路です。復興支援道路として、赤石峠工区では幅員狭小、急カーブや急勾配となっている交通の難所を解消する改良工事を進めており、平成 29 年春の完成を目指して事業を進めています。



施工中の様子

2. 一般国道 340 号駒板工区

一般国道 340 号は、岩手県内陸部の北上山地を南北に縦断する幹線道路であり、九戸村の駒板工区を含む区間は、地域の主要産業である養鶏業を支える物流路線であるとともに、生活道路としての役割を担っています。駒板工区では、幅員狭小、急カーブとなっている交通の難所を解消する改良工事を進めており、平成 28 年度末の完成を目指して事業を進めています。



施工中の様子

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成29年(2017年) 1月号 ▲ ✨ 第150号 ✨

3. 一般県道二戸ー戸線荒瀬橋橋梁補修工事

一般県道二戸ー戸線、現在の荒瀬橋は一級河川馬淵川に架かるコンクリートアーチ橋として昭和11年5月に竣工しました。歴史的にも貴重な建造物であり、周辺環境との調和、景観的にも優れていることから、「おいしいちゃん橋プロジェクト※1」の中の橋梁の一つです。

平成25年度に下部工の補修工事に着手し、平成28年10月に上部工の補修工事が完了しました。

※1 完成から60年という過期を過ぎ、歴史的価値が高く、景観に優れた橋の再生・修繕を進め、橋の存在や価値を県民の皆様知っていただく取組



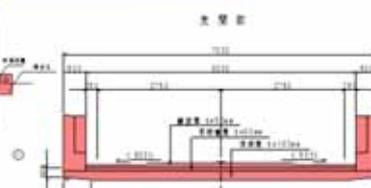
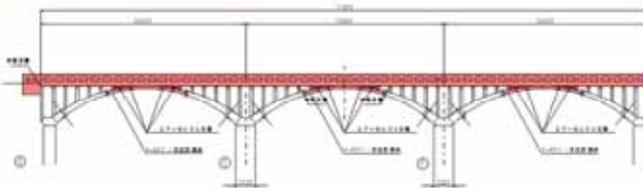
石切所小学校の3年生を迎えて現場見学会を開催 (H28.9.7)



施工前



施工後



橋名	荒瀬橋
位置	二戸市石切所
橋長	71.8m
有効幅員	6.0m
径間数	3
形式	RC 開腹上路アーチ橋

独自の取組等

1. 道の日～奥州街道(養ヶ坂(みのがさか))を巡る～

国民に道路の意義・重要性について関心をもってもらうため、国土交通省は昭和61年に、8月10日を「道の日」と制定しました。以来、各地で様々なイベントが開催されています。

毎年、東北広域振興局土木部(本局、二戸土木センター)では、奥州街道の歴史の道を巡るバス&ウォーキングツアーを開催しています。平成28年度は、奥州街道の難所の一つであった、養ヶ坂を巡るツアーを開催しました。



養ヶ坂ウォーキングの様子

2. 木造住宅の耐震対策普及講座(出前講座)

県では、「安全」で「安心」できる建築物ストックの形成を図るため、既存建築物の耐震対策や防災対策等を推進しています。

これらの施策の一環として、小学校における木造住宅の耐震対策普及講座(出前講座)を開催し、次代を担う児童の防災意識づくりに取り組んでいます。

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成 29 年 (2017 年) 7 月号: 水門・陸閘 ▲ 自動閉鎖システム運用



美しい 県土づくりNEWS

2017 年
7 月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第 156 号
平成 29 年 8 月 7 日発行
編集 県土整備企画室



三陸復興

目次

- ◆1 水門・陸閘自動閉鎖システムの運用を開始!
- ◆3 木賊川遊水地整備工事 安全祈願祭を開催しました!
- ◆6 けんせつ小町部会を設立
～建設産業における女性活躍に向けて～
- ◆8 景観学習を実施しました!
- ◆9 東日本大震災津波の被災3県による合同要望を実施

「水門・陸閘自動閉鎖システム」の運用を開始!

河川課

平成 29 年 7 月 31 日 (月)、宮古市の神林海岸、高浜海岸及び大船渡市の合足農地海岸において、水門・陸閘自動閉鎖システムの運用を開始しました。

運用の開始に当たっては、達増知事が水門・陸閘自動閉鎖システムの運用開始を宣言しました。



達増知事、宮古市・大船渡市消防団長による模擬信号送信の様子

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成29年(2017年)7月号:水門・陸閘 ▲ 自動閉鎖システム運用

水門・陸閘自動閉鎖システムの運用を開始！

河川課

宮古市の神林海岸、高浜海岸及び大船渡市の合足農地海岸の水門・陸閘 8 基において、県が整備を進めてきた「水門・陸閘自動閉鎖システム」が平成 29 年 7 月 31 日に運用を開始しました。

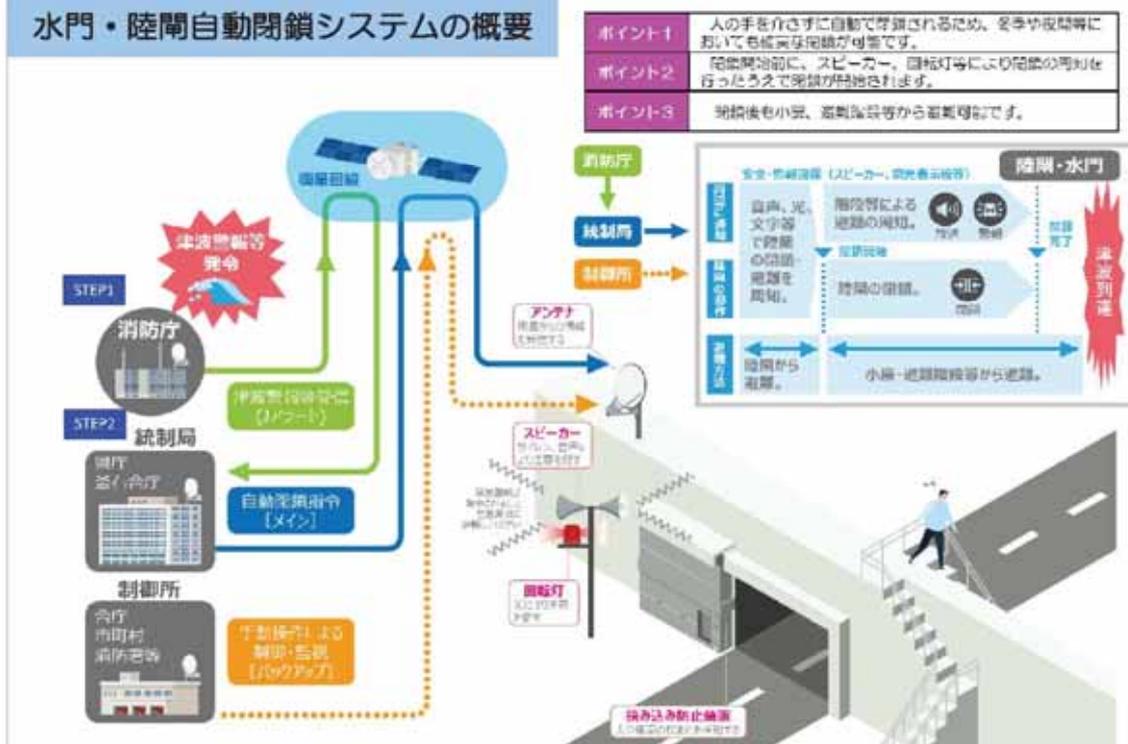
当日は、運用を開始する施設のある、宮古市の山口副市長、山下消防団長、大船渡市の戸田市長、新沼消防団長の出席のもと、また、東日本大震災津波発災時から東北地方整備局長として岩手県の復興・復興にご支援いただいた元国土交通事務次官の徳山氏などが出席し、達増知事と宮古市・大船渡市の消防団長による J アラートの模擬信号の送信を契機として水門・陸閘が閉鎖する様子を確認し、達増知事がシステムの運用開始を宣言しました。

今後は、操作員の安全の確保や、沿岸地域の方々の安全・安心の確保が図られるよう、水門・陸閘の工事が完了した箇所から順次、システムを運用する予定です。



左から戸田大船渡市長、達増知事、徳山元国土交通事務次官、山口宮古市副市長

水門・陸閘自動閉鎖システムの概要





美しい 県土づくりNEWS

2018年
11月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第172号
平成30年11月30日発行
編集 県土整備企画室

目次

- ◆2 【主要地方道一関北上線】「柵の瀬橋」が開通しました！
- ◆4 【復興支援道路】一般国道107号梁川口内トンネルの銘板御披露目式を開催しました!!
- ◆6 建設ICT現場見学会&講習会を開催しています
- ◆8 いわて建設業みらいフォーラムを開催しました
- ◆10 国に対する提言・要望活動を行いました
- ◆11 復興道路等の整備による「ストック効果」を紹介します！
釜石道特集② 釜石道と三陸沿岸道路(三陸道)の連携

三陸復興

遊水地の田園風景に抱かれる橋 新しい「柵の瀬橋」が開通

主要地方道一関北上線「柵の瀬橋」は、昭和38年に完成した旧橋の老朽化などに伴い、2013年度から架替工事を進めてきましたが、新橋が完成し、11月11日に開通しました。

橋の開通によって、幅員が広くなり交通が円滑になるほか、橋梁の耐震性や北上川の洪水流下能力が向上し、地域の活性化や災害時における信頼性の高い交通ネットワークの構築に大きく寄与することが期待されます。



左側が旧「柵の瀬橋」、右側が新「柵の瀬橋」です。将来においても地域の人々に親しまれる橋梁となるよう、周囲の田園風景との調和などに配慮し、景観やデザインを検討しました。

〔主要地方道一関北上線〕

「柵の瀬橋」が開通しました！

県南広域振興局土木部一関土木センター

国の一関遊水地事業に関連して整備を進めている、主要地方道一関北上線「柵の瀬橋」が平成30年11月11日(日)16時に開通しました。柵の瀬橋は北上川に架かるコンクリート橋としては県内で1番の長さになります。

当日は天候にも恵まれたなか、開通に先立ち11時から開通式を開催し、岩手河川国道事務所長、一関市長、平泉町長、細川県南広域振興局長、県議会議員、市議会議員、町議会議員、地権者、一関市立中里小学校、舞川小学校の皆様など約70人が出席しました。

開通式では、一関市長、高田県議会議員から御祝辞をいただき、中里小学校の児童からは、開通式を迎えての作文を発表していただきました。

その後、テープカットとくす玉開披、郷土芸能である中里鶏舞踊りが披露されました。開通式典後には、施工業者の主催による安全祈願祭を行った後、親子三代渡り初めを行いました。



細川県南広域振興局長の式辞



勝部一関市長の祝辞



菅原所長の事業経過説明



中里小学校児童からの作文発表



テープカット・くす玉開披



「中里鶏舞」披露



安全祈願



親子三代渡り初め

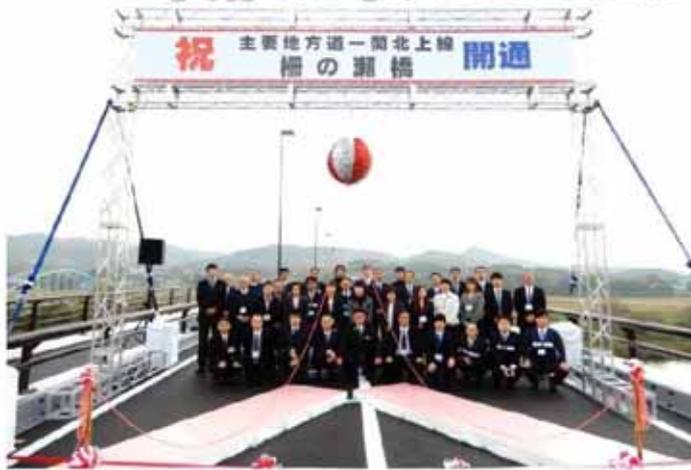


平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成30年(2018年) 11月号 ▲ 柵の瀬橋 開通



一関土木センター全員集合！



開通後の状況

【「柵の瀬橋」の事業概要】



【道路整備による効果】

- 緊急輸送道路の機能向上
緊急車両や大型トラックの通行がスムーズになり、耐震化が図られるので、災害直後から避難・救助をはじめ、物資供給の応急活動が強化される。
- 地域間交流のネットワーク機能の向上
幅員が広くなることで交通の安全が確保され、地域間の交流・連携の促進が図られる。
- 北上川の洪水流下能力の向上
国土交通省が進める一関遊水地事業と一体となって整備することにより、治水対策に一層の効果が得られる。

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和元年(2019年) 9月号: 築川ダム ▲ 堤体打設完了



美しい 県土づくりNEWS

2019年
9月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第182号
令和元年9月30日発行
編集 県土整備企画室

目次

- 2 築川ダム建設工事 堤体コンクリート打設完了!
- 3 高田松原津波復興祈念公園 主要施設がオープンしました!
- 4 下水道探検ツアーを開催しました!
- 6 道路愛護団体等への感謝状伝達式を行いました!
- 7 平成28年台風第10号「発災から3年」復旧・復興事業の取組

三陸復興

祝！ 築川ダム堤体打設完了式

県が盛岡市川目で整備を進めている築川ダムにおいて、ダム堤体コンクリート最終打設の節目を迎えたことから、令和元年9月3日(火)に堤体打設完了式を行いました。

式には、県、盛岡市立中野小学校、工事関係者等約130人が出席し、メモリアルストーン埋納、最終コンクリート打設の後、参加者全員で万歳三唱を行い、打設完了を祝いました。



石田盛岡広域振興局長の式辞



中野小学校児童代表によるメモリアルストーン埋納



参加者全員による万歳三唱



工事関係者で記念撮影

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和元年(2019年) 9月号: 築川ダム ▲ 堤体打設完了

築川ダム建設工事 堤体コンクリート打設完了!



盛岡広域振興局土木部築川ダム建設事務所

県が盛岡市川目で10番目の県営ダムとして整備を進めている築川ダムにおいて、令和元年9月3日にダム堤体コンクリートの最終打設を行いました。ダム堤体工事は平成26年12月に着手、平成29年4月1日から本格的に堤体コンクリート打設を開始、同年9月7日に定礎式を行い、途中冬期間の打設休止を挟みながら2年5か月を経て、この度の堤体打設完了となりました。

今後は、取水設備工事、管理用設備工事などを進めるとともに、来年秋には試験湛水を開始する予定としています。これからも地域の皆さんの御理解と御協力をいただきながら、令和2年度の完成を目指し、事業を進めてまいります。



平成29年4月撮影
【打設開始時】

打設開始から2年5ヶ月



令和元年9月撮影
【打設完了時】

◇◇最終打設のながれ◇◇



- ①トラスアーカからバケットにコンクリートを投入
- ②「打設開始!」の合図
- ③いざコンクリートを投入
- ④黄金に輝くパイプレータで締固めて完了!



打設完了式で埋納した中野小児童によるメモリアルストーン

【築川ダム建設事業概要】

- ◇事業目的 ①洪水調節 ②流水の正常な機能の維持 ③水道用水 ④水力発電 ◇事業期間 平成4年度から令和2年度まで(予定)
- ◇計画諸元 型式:コンクリート重力式 堤高:77.2m(県営2位) 堤体積:22万8千m³ 総貯水容量:1,910万m³(県営最大)



美しい 県土づくりNEWS

2021年
3月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌祝第200号!
令和3年3月31日発行
編集 県土整備企画室

目次

- ◆2 東日本大震災津波から10年
宮古盛岡横断道路が全線開通!
- ◆4 令和2年度優良建設関連業務表彰式
- ◆6 優良工事 21 件を表彰
～優良県営工事表彰・優良下請負企業表彰～
- ◆7 「建設業新分野進出等表彰式」を開催!
- ◆8 岩手県の除雪の取組を紹介します!
～日常生活を支える安全な道づくりの推進～
- ◆10 東日本大震災津波からの復興に向けて
～令和2年度 県土整備部の取組状況～
- ◆13 岩手県自転車活用推進計画を策定しました!!
- ◆15 (特集)美しい県土づくりNEWS 創刊200号!

三陸復興

東日本大震災津波から 10 年 宮古盛岡横断道路が全線開通!

令和3年3月28日(日)、復興のリーディングプロジェクトとして国が整備を進めている宮古盛岡横断道路が全線開通しました。

全線開通後は、宮古盛岡間の所要時間が震災前と比較して約30分も短縮されます。これにより、路線全体として安全性や速達性、定時性が大きく向上し、沿岸と内陸の更なる交流連携の促進、迅速かつ安定した救急搬送、広域観光や物流の活性化など多くの効果が期待されます。



テープカット・くす玉開披 (写真提供: 三陸国道事務所)

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和3年(2021年) 3月号: ✨ 第200号 ✨ ▲

東日本大震災津波からの復興に向けて ～令和2年度 県土整備部の取組状況～

県土整備企画室

令和3年3月11日で東日本大震災津波の発災から10年が経過しました。
県土整備部は、被災地の一日も早い復興に向けて、インフラの復旧や整備等に取り組んでいます。
今号では、東日本大震災津波からの復興に向けた令和2年度の主な取組をご紹介します。

主な復旧・復興事業の進捗状況（令和3年3月末見込み）

復興まちづくり（面整備）	7,472区画全ての宅地整備が完了。
復興道路等	事業化延長359kmのうち、328km（約91%）が開通。
津波防災施設 （県土整備部所管分）	65地区のうち、59地区（約91%）が完了見込み。
災害公営住宅 （沿岸部・内陸部）	5,833戸全ての整備が完了。

各分野の取組状況

復興まちづくり ～復興まちづくり（面整備）は全てが完成～

岩手県は、復興まちづくりの基本的な考え方として、多重防災型まちづくりを目指しています。これは、被害状況や地理的条件、歴史や文化、産業構造などに応じて、その地域に合致した「津波防災施設」、「まちづくり」、「ソフト対策」を適切に組み合わせ、被害をできるだけ最小化するという「減災」の考えにより「安全の確保」を図るものです。

今年度までに、計画7,472区画の全ての宅地が完成しました。

- 防災集団移転促進事業：88団地、2,090区画
- ※ 漁業集落防災機能強化事業：41地区、471区画
- 土地区画整理事業：19地区、4,911区画
- 津波復興拠点整備事業：10地区



▲ 防災集団移転促進事業「大槌町赤浜地区」
（平成31年4月撮影）



▲ 津波復興拠点整備事業「釜石市東部地区」
（令和2年3月撮影）

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和3年(2021年) 3月号: ✨ 第200号 ✨ ▲

復興道路等の整備

～高規格幹線道路の整備が進み、利便性向上や産業振興に寄与～

国が施行する**復興道路**（三陸沿岸道路、東北横断自動車道釜石秋田線、宮古盛岡横断道路）については、**令和2年度に78km※が開通**しました。（※県内開通延長）

三陸沿岸道路（県内）は、**野田久慈道路**（普代～久慈）、**田野畑道路**（田野畑南～尾肝要）以外の区間が開通し、**令和3年内の全線開通を予定**しています。また、**宮古盛岡横断道路**は、今年度末までに事業化している区間が**全線開通**し、これらの効果が全県に広がることが期待されています。

復興道路を補完する道路として県が施行する、**復興支援道路**や**復興関連道路**については、国道340号押角峠工区（岩泉町、宮古市）と、県道明戸八木線小田の沢工区（洋野町）など新たに**6箇所が開通**しました。

令和2年度までに、**復興支援道路**については**整備計画箇所38箇所のうち35箇所**、**復興関連道路**については**整備計画箇所20箇所のうち19箇所**が開通しています。



▲三陸沿岸道路「宮古中央 JCT～田老真崎 IC」
宮古盛岡横断道路「宮古港 IC～宮古中央 IC」開通
(令和2年7月12日)



▲復興支援道路「一般国道340号押角峠工区」開通
(令和2年12月13日)



▲宮古盛岡横断道路「区界～壺川」開通
(令和2年12月5日)



▲復興関連道路「主要地方道重茂半島線」完工式
(令和3年1月23日)



▲三陸沿岸道路「洋野町種市 IC～階上 IC」開通
(令和2年12月12日)



▲復興支援道路「一般国道284号石法華工区」開通
(令和3年1月24日)

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和3年(2021年) 3月号: ✨ 第200号 ✨ ▲

津波防災施設

～防潮堤等の津波防災施設は9割以上の地区で完成～

防潮堤や水門等については、県、市町村合わせて134地区のうち、県土整備部では65地区で整備を進めています。

今年度は、久慈市の久慈川など5箇所が概成し、3月末までに約9割の地区の概成を予定しています。

また、津波発生時に現地で人が操作することなく、水門・陸閘を安全かつ迅速・確実に閉鎖できる「水門・陸閘自動閉鎖システム」の整備を進めており、今年度新たに気仙川水門(陸前高田市)など72箇所で開催を開始しました。3月末までに214箇所のうち142箇所(約66%)が運用を予定しています。



▲片岸海岸(釜石市):令和元年9月整備完了



▲田代川(宮古市):令和3年3月整備完了

災害公営住宅

～県内全5,833戸の整備が完了～

災害公営住宅は、県と市町村で計5,833戸の整備を進めてきました。

令和2年12月に盛岡市南青山99戸が完成し、全ての整備が完了しました。



▲県営南青山アパート(盛岡市):令和2年12月完成



▲県営南青山アパート完成式:令和3年2月11日

復興10年にあたって

県としては、現在も実施している事業箇所について、一日も早い完成に向けて取り組むとともに、国の第2期復興・創生期間においても、被災者のこころのケアやコミュニティ形成支援など中長期的に取り組むべきソフト事業を始め、引き続き必要な施策を進めていきます。



美しい 県土づくり NEWS

2022年
1月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第210号
令和4年1月31日発行
編集 県土整備企画室



目次

- 2 高田松原津波復興祈念公園～公園管理事務所開所式・市民協働イベントが行われました！～
- 4 主要地方道大船渡広田陸前高田線（船河原工区）が全線開通しました！
- 5 一般県道不動盛岡線「矢次インター橋」が完成！
- 6 一般県道平泉停車場中尊寺線（中尊寺通り）小公園の利用開始について
- 7 空き家バンクの充実化支援～市町村職員を対象とした空き家情報利活用セミナーの開催～
- 8 優良工事21件・新事業2件を表彰～優良県営建設工事表彰式・建設業新分野進出等表彰式～
- 10 令和3年度優良建設関連業務表彰

～工事着工から約5年～ 高田松原津波復興祈念公園 全面供用！

国、岩手県、陸前高田市が連携して整備を進めてきた高田松原津波復興祈念公園が、令和3年12月26日（日）に全面供用となりました。

本公園は令和元年9月の国営追悼・祈念施設等の主要施設の利用開始を皮切りに、順次供用エリアを拡大してきました。今回の全面供用により、東日本大震災津波の犠牲者への追悼・鎮魂や震災伝承の場、交流人口の拡大やにぎわいの拠点としての活用がより一層期待されます。



平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和4年(2022年) 1月号: 高田松原津波復興祈念公園 ▲ 全面供用

高田松原津波復興祈念公園

～公園管理事務所開所式・市民協働イベントが行われました！～

沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター

高田松原津波復興祈念公園とは？

「高田松原津波復興祈念公園」は、東日本大震災の犠牲者への追悼と鎮魂や復興への強い意志を国内外に向けて明確に示すことなどを目的とした公園として、国、岩手県、陸前高田市が連携して整備を進めることとし、平成29年3月から公園工事が始まりました。

本公園は整備が完了した区域から順次供用を開始しており、令和3年12月26日（日）に公園の全面供用を迎えることができました。

～公園管理事務所の開所式～



大船渡土木センター 馬場所長



陸前高田市 舟波副市長

令和3年12月26日（日）、高田松原津波復興祈念公園の全面供用に合わせて利用開始となる、公園管理事務所の開所式が行われました。式典の冒頭には、大船渡土木センターの馬場所長、陸前高田市の舟波副市長より、主催者挨拶を行いました。

式典には国・県・市の関係者のほか、公園内で活動を行う市民協働グループの関係者が出席しました。来賓の方を代表して、有識者懇談会の広田委員、高田松原を守る会の鈴木理事長から祝辞を頂戴しました。



有識者懇談会 広田委員



高田松原を守る会 鈴木理事長

公園管理事務所のテープカット



高田松原を守る会 鈴木理事長
大船渡土木センター 馬場所長
有識者懇談会 広田委員
和匠建設 中嶋社長
東日本大震災津波伝承館 立花副館長
〔一財〕公園財団 佐々木分室長
陸前高田市 舟波副市長
道の駅高田松原 熊谷駅長

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和4年(2022年) 1月号: 高田松原津波復興祈念公園 ▲ 全面供用

～市民協働イベント～

公園管理事務所の開所式に引き続き、高田松原津波復興祈念公園で活動を行う「市民協働グループ」により、市民協働イベントが行われました。当日は100人近い方に参加いただき、管理事務所の使い初めとして、盛況に終えることができました。

パネル展示



古川沼の自然環境 講座・自然観察会



「ハナミズキのみち」絵本読み聞かせ



語り部: 未来へ語り継ぐ高田松原の石碑



門松アレンジづくり・プランター花壇づくり



「未来へつなく 語り部の声」放映



公園管理事務所の紹介

公園管理事務所には約 60 人が利用できる会議室のほか、トイレ、更衣室、授乳室も整備しています。会議室利用は有料となり事前予約が必要ですが、トイレ、更衣室、授乳室は、自由に利用できますので気軽にお立ち寄りください。



会議室(※有料)



多目的トイレ



授乳室



更衣室



平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和5年(2023年) 2月号:小本川流木捕捉施設完成 ▲



美しい 県土づくりNEWS

目次

- ◆ 2 小本川河川災害復旧助成事業
流木捕捉工施設が完成しました!!
- ◆ 4 赤鹿橋の「渡り初め式」を開催しました!!
～台風第10号からの復興～
- ◆ 7 除雪オペレーター育成に向けた除雪訓練を実施しました!
- ◆ 8 令和4年度の高校生との協働による橋梁点検を実施しました!!
- ◆ 13 令和4年度(第47回)土木技術研究等発表会
～半世紀にわたる歴史を誇る発表会を2年ぶりに開催～

2023年

2月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第222号
令和5年3月3日発行
編集 県土整備企画室

三陸復興

二級河川小本川筋河川災害復旧助成事業(浅内工区)
流木捕捉工施設が1月に完成!!



平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和5年(2023年) 2月号:小本川流木捕捉施設完成 ▲

小本川河川災害復旧助成事業 流木捕捉工施設が完成しました！！

沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター

流木捕捉工施設について

二級河川小本川における平成28年8月の台風第10号災害では、上流から流出した大量の流木が橋梁部に堆積して流れが阻害され溢れた洪水により浸水被害が拡大しました。

このことから、下流に流下する流木を捕捉し、被害を軽減する目的で、流木捕捉工施設の整備を令和2年3月から進め、令和5年1月で完成しました。

- ・事業費 785百万円
- ・掘削工 87,590m³
- ・ブロック積工 3,715m²、大型ブロック積工 494m²
- ・鋼製スリット 開口幅80m（縦50m+横30m）スリットの間隔3m

完成写真(令和5年1月20日時点)



平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和5年(2023年) 2月号:小本川流木捕捉施設完成 ▲

流木捕捉工施設は、捕捉池と通常時の河道を仕切るために流木流入口を設けた囲繞（いりょう）堤を設置し、洪水時に流木と洪水流を流入口から捕捉池に導流し、施設の下流端に設ける鋼製スリットで流木を捕捉する構造です。

本施設が完成したことにより、今後の大雨による流木の流出に伴う被害の軽減が期待されます。

流木被害の状況について

小本川流域は平成 28 年 8 月に発生した台風第 10 号災害により甚大な被害を受けました。台風第 10 号による出水被害における特徴として、洪水による河岸の側方浸食のほか、山腹土砂崩壊等により流出した流木が橋梁へ堆積したことに伴い、橋梁の流出、橋梁周辺の護岸の決壊のほか水位の堰上げによる氾濫被害により、浸水被害の拡大をもたらしました。

また、氾濫流とともに流木が家屋及び橋梁高欄等へ流出、貫入するなどして被害を拡大させたほか、流木撤去に相当の労力を要するなどし、早期応急復旧に対し大きな支障を及ぼしました。

流木捕捉工施設は台風第 10 号の被害状況を鑑み、山間地での河道屈曲部に捕捉池を設置することで流木に作用する遠心力を利用して流木捕捉を行い、下流部における流木被害の軽減を図るものです。

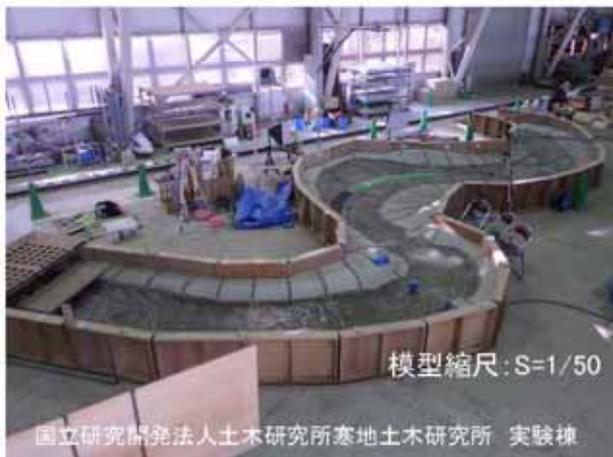


橋梁の流木被害状況(田中橋)



支障となる流木堆積(乙茂地区)

流木捕捉工施設は事例が少ないこと及び設計基準が定まっていないことから、流木を効果的に捕捉池に取り込めるよう、水理模型実験により検証を行い、どの形状が現地に一番合っているかを確認し、設計に反映させました。



模型縮尺: S=1/50

国立研究開発法人土木研究所 実験棟

水理模型実験全景



鋼製スリット

実験後の捕捉写真

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和6年(2024年) 1月号: 岩谷橋 二戸市 完成 ▲



美しい 県土づくりNEWS

2024年
1月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第233号
令和6年1月31日発行
編集 県土整備企画室

目次

- ◆2 岩谷橋と橋詰広場の完成記念イベントを開催！
- ◆5 第18回土木合同セミナー「流域治水を考える」を開催しました！
- ◆7 京都工学院高校の生徒に「岩手県の震災復興」の取組等について紹介しました！
- ◆8 令和6年能登半島地震からの生活再建に向けた支援を行っています
- ◆10 優良県営建設工事等の表彰式を行いました
- ◆13 令和5年度岩手県まちづくりセミナー「色彩の観点からの景観まちづくり」を開催しました
- ◆15 岩手県県土整備部における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の実施状況・事例等を紹介しします！

三陸復興

あ ら せ か み た お も て

都市計画道路荒瀬上田面線

岩谷橋と橋詰広場の完成記念イベントを開催！



「四代目岩谷橋」
記念撮影



橋詰広場のテープカット



橋名板のお披露目

令和5年12月25日(月)、岩谷橋の車道部と橋詰広場が完成したことを節目として完成記念イベントを開催しました。

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和6年(2024年)1月号:岩谷橋 二戸市 完成 ▲

都市計画道路荒瀬上田面線
岩谷橋と橋詰広場の完成記念イベントを開催！

県北広域振興局土木部二戸土木センター

令和5年12月25日(月)、都市計画道路荒瀬上田面線岩谷橋の車道部が完成し、右折信号機付きの右折レーンが運用開始されたことや、橋詰広場が完成したことを節目として、完成記念イベントを開催しました。

イベントの様子

当日は、地域の皆様を含め30名以上の方々が参集し、県北広域振興局長、二戸市長、県議会議員、市議会議員、施工業者によるテープカット、県と二戸市が協力して整備した橋詰広場、創立150周年を迎えた福岡小学校の児童の皆様にご挨拶いただいた橋名板をお披露目しました。



坊良県北広域振興局長あいさつ



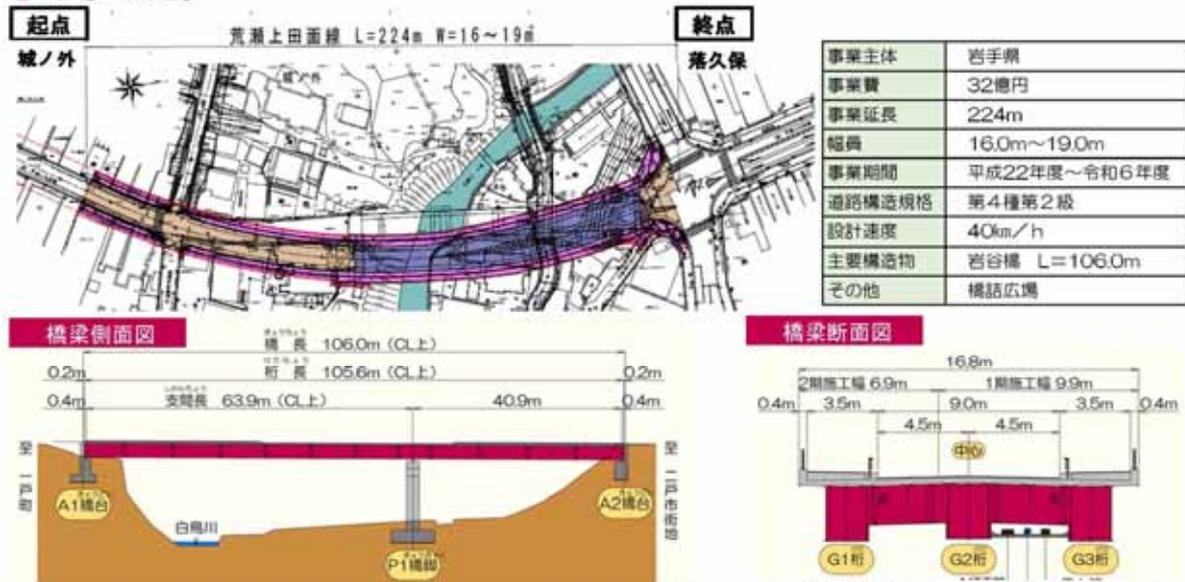
藤原二戸市長祝辞



五日市県議会議員祝辞

事業概要

岩谷橋と接続する落久保交差点は、二戸市の東西と南北の交通軸が交差する交通量の多い交差点ですが、右折レーンがなく、歩道も狭小であるため、岩谷橋の架替及び前後道路の線形改良、拡幅、交差点改良により、安全で安心な通行空間の確保と都市内道路の機能向上を図るため、平成22年度から事業に着手しました。



※ 交差点部は幅員 19.0m (右折レーンの新設)

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和6年(2024年) 1月号:岩谷橋 二戸市 完成 ▲

施工状況

橋の架け替えに当たって、車両や歩行者の通行を確保する必要がありますが、現地は迂回のための仮橋設置が困難な条件であるため、部分的な仮橋により通行を確保するなど、片側ずつ切り替えながら施工を進める必要があることから、難易度が高く、施工に時間がかかる工事となりました。

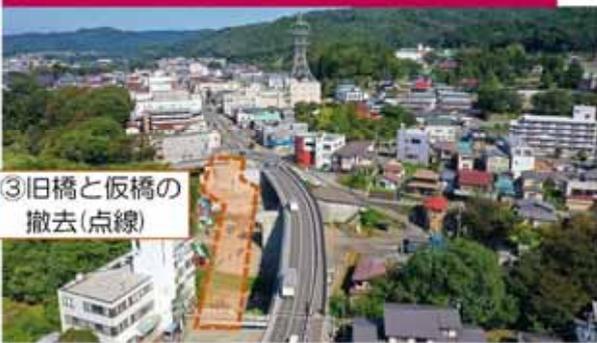
① 仮橋の設置 (2018.5)



② 橋桁の設置【1期施工】 (2020.9)



③ 旧橋と仮橋の撤去、橋台・橋脚の設置 (2022.9)



④ 完成形 (施工中)【2期施工】 (2023.3)



景観への配慮

計画策定の段階から「景観懇談会」や「詳細デザイン検討委員会」を始め、地域の皆様からご意見をいただき、「自然や歴史を感じながら歩いて渡る橋」をコンセプトとして、橋桁を二戸市章と同じ「古代朱(こだいしゆ)」色に塗装したほか、景観に配慮した高欄、照明灯、親柱としています。

橋桁を二戸市章と同じ「古代朱」色に塗装



《二戸市の市章》
二戸市の「二ノへ」をモチーフに、豊かな自然と人間の融和、歴史文化の深さと安心が感じられる形と色彩により、活力のある安全安心な県北の拠点都市・二戸市の飛躍発展を表現しています。

大正時代の親柱を再現



(提供) 二戸市歴史民俗資料館

転落防止柵「木目調」の手すりを設置



歩道舗装には平板ブロックを使用



和風吊り下げ形状の歩道照明灯



平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和6年(2024年) 1月号: 岩谷橋 二戸市 完成 ▲

橋詰広場

岩谷橋は、岩谷観音や奥州街道の上を通過し、橋上は折爪岳や馬淵川の眺望地点であることから、県と二戸市が協力し、岩谷橋の袂に、岩谷橋や周辺地域の歴史や観光の魅力を発信する橋詰広場を整備しました。

広場には、旧橋の親柱や二戸市ゆかりの作家による歌碑、岩谷橋の歴史や周辺の観光施設などを紹介する案内板などを設置しています。



橋名板の揮ごう

岩谷橋の高欄に取り付けられる4枚の「橋名板」は、創立150周年を迎えた福岡小学校の児童（5・6年生）に揮ごうしていただきました。



おわりに

地域の皆様により一層愛される岩谷橋として、事業着手から約 14 年の歳月をかけ整備を進めてきました。

本工区の整備に当たり、貴重な土地を提供いただいた地権者の皆様、二戸市や福岡小学校をはじめ地元関係機関・団体の皆様、施工業者の皆様改めて感謝を申し上げます。

～旧岩谷橋の歴史、景観検討の様子や石積みの調査～

初代岩谷橋（明治21年）から3代目（令和3年10月）までの歴史、景観検討の様子や旧岩谷橋の石積みの調査については、美しい県土づくりニュース令和4年5月号に掲載しています。

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kendoseibi/news/1056043/1056775.html>

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和6年(2024年)7月号:最新号 ▲



岩手県ホームページでも
ご覧いただけます ▼



美しい 県土づくりNEWS

2024年
7月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第238号
令和6年7月31日発行
編集 県土整備企画室

目次

- 02 岩手県広域サイクリングルート
名称考案者への感謝状贈呈セレモニーを開催しました!
- 04 一般国道107号大石地区道路災害復旧事業
西和賀町民へのトンネル現場見学会を開催しました!
- 07 吸川放水路をPR!
地元小学校による施設見学会を開催しました!
- 08 令和6年濁水において入畑ダムが効果を発揮しました
- 10 ぼくらの大発見! われら砂防堰堤探検隊!
~小学生を対象に、関係機関合同で現地講座を実施~
- 12 複合商業施設「monaka」オープンしました!
- 13 県内各地で景観学習を実施しています!
- 14 下水道・浄化槽 出前講座を開催しています!
- 16 東日本大震災津波からの住宅復興支援の取組について
高校生に向け防災学習を実施しました
- 18 「優秀建設施工者岩手県知事表彰式」を開催しました
- 19 岩手県内で発生した豚熱の防疫措置への対応
~県建設業協会にご協力いただきました~

三陸復興

~ 岩手県広域サイクリングルート ~ 名称考案者への感謝状贈呈セレモニー を開催しました!!



~ 名称考案者(6名)の皆さんを囲んで記念撮影 ~

中列 左から	岩手県立大学 宇佐美 様	小田拓美 様	森山 靖 様	須山恵美 様	安部富士男 様	小野寺克夫 様	熊谷志朗 様
来賓	いわてイーハトーブルート考案者			いわて三陸しおかぜルート考案者			

一般国道107号大石地区道路災害復旧事業

西和賀町民へのトンネル現場見学会を開催しました!

県南広域振興局土木部北上土木センター

岩手県では、一般国道107号西和賀町大石地区で令和3年5月に発生した地すべりの災害復旧事業として、トンネル工事を進めています。

令和6年6月9日、西和賀町民を対象としたトンネル現場見学会を開催し、約100名の方に参加いただきました。

【トンネル工事の概要説明】



トンネルの構造や使用する機器の紹介、トンネル発破体験やロックボルト重量体験、防水シートへのメッセージの記入など、工事受注者が工夫を凝らし、充実した見学会になりました。

【測量機器の説明】



複合商業施設「monaka」オープンしました!

都市計画課

令和6年7月11日に盛岡市中ノ橋通に複合商業施設 monaka がオープンしました。
運営会社である株式会社モナカ主催によるオープニングセレモニーが執り行われ、テープカット及びくす玉開披により、グランドオープンを祝いました。



テープカット、くす玉開披



monaka全景

monakaには、県産品を取り扱う店舗をはじめ、飲食店、物販店、病院、塾等のテナントが入っています。

monakaの整備により、中心市街地の活性化や価値向上を図るとともに、盛岡バスセンターと一体となり、県内外の人やモノが行き交う広域的な拠点となることが期待されます



オープンを心待ちにしている
長蛇の列



盛岡さんさ伝承会 もいち
の演舞もありました



いよいよオープン!
初日は約4万人が来場!

令和6年7月3日には、オープンに先立ち、工事の完成に感謝する竣工式及び内覧会も執り行われました。

【施設概要】

- ・地上4階建て、地下1階
- ・延べ床面積約15,000㎡



岩手県内で発生した豚熱の防疫措置への対応 ～県建設業協会に御協力いただきました～

県北広域振興局土木部・建設技術振興課・県土整備企画室

令和6年5月末、九戸郡洋野町で豚熱が発生しました。

豚熱は、人に感染することはないが、感染した豚の肉が市場に出回ることはありませんが、まん延防止のため、発生農場で殺処分し、埋却する防疫措置が図られました。

殺処分した豚の埋却作業等に当たっては、一般社団法人岩手県建設業協会久慈支部のみなさまに、昼夜を問わない作業に全面的に御協力いただきました。(23日間、延べ1,228人)

【発生からの対応等の経緯】

令和6年	内容	県建設業協会の対応	作業日
5月27日 13:30	農場から異常豚発生報告		
5月28日 20:00	国において、患畜と判定		
21:00	発生農場での殺処分を開始		
5月29日 17:00		埋却地の掘削を開始 📷①	1日目
5月30日 17:00		殺処分した豚の埋却を開始 📷②	2日目
6月17日 14:00	発生農場での殺処分が完了		20日目
6月20日 15:00		殺処分した豚の埋却が完了 📷③	23日目



▲埋却溝の掘削：5月29日 📷①



▲殺処分した豚の埋却：5月30日 📷②



▲消毒用資材(消石灰)の散布：6月1日



▲埋却溝の覆土：6月18日 (📷③)

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

令和6年(2024年)7月: SNS開設 ▲



共に考え、描き、創る 我が県土
「明るく、楽しく、情熱を持って！」

岩手県県土整備部が
お届けする“手づくり”広報誌

美しい県土づくりNEWS



岩手県県土整備部の旬の話題を
タイムリーにお届けします！



Facebook



X (Twitter)



Instagram



岩手県ホームページ



◀◀ SNSを
利用して
いない方も
ご覧いただけ
ます！



岩手県
Iwate Prefecture

おでんせ、いわて！

県土整備部 県土整備企画室